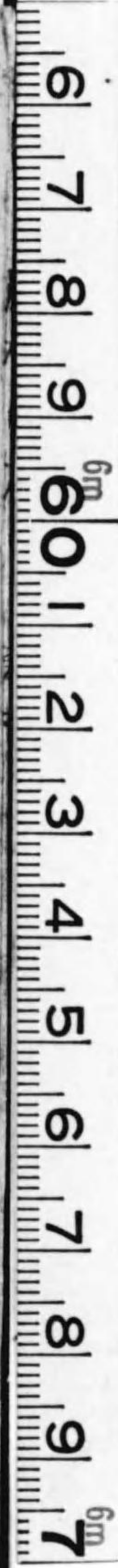


農村に於ける教育

特232

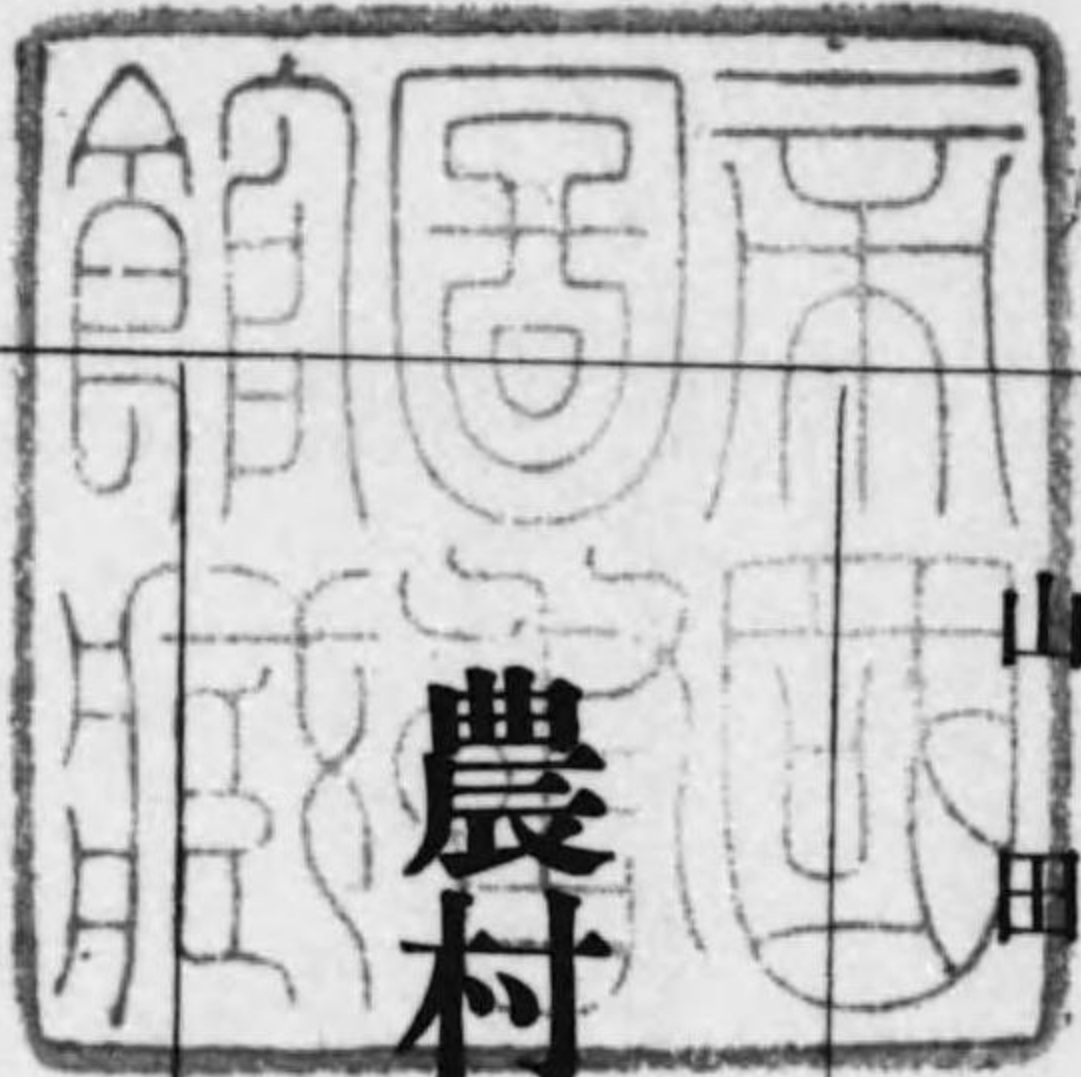
462



始



特232
462



ロシヤ共産黨著
山田一郎譯

農村に於ける教育

一九二八年

平野書房刊



譯者序

ロシアは農業國である。帝政ロシアが農業國であつた事は改めて言ふまでもないが、「國家の工業化」に努力しつゝあるソウエート・ロシアもまだまだ農業國の域を脱して居ない。この事を證明する數字を擧げて見よう。一九二五年度調べ國民總人口一億四千萬の中壓倒的多數一億一千五百萬(八〇%強)を占むるは農民である。而して國民總收入額の過半五六%を占むるも亦農民である。これではロシアを「農民の國」と認めない譯には行くまい。

ソウエート・ロシアは×××が獨裁政治を行つて居る國である。×××員の數は一九二六年十月現在六十八萬五千人と註せられた。其中農民は十七萬位(二五%弱)を占めて居るに過ぎない。十七萬は農民總數の一億一千五百萬に對し九牛の一毛、大海の一滴である。

要するに少数の×××員が「農民の國」ロシアを支配して居る。而して農民の大部分——殆んど全部と言つていゝ位——は×××員でない譯である。これでは共産黨が農村に於けるアヂテーションと宣傳に力瘤を入れるのも尤もだと領かれやう。

このバンフレットは一九二五年ロシアの×××機關で著作發行した「農村に於けるアヂテーションとプロバカンダの重要な部分を譯出したものである。従て×××の農村に於ける仕事を見るには最も便利なるものである。我國の無産階級にとつて今後の必然的轉地展開の上に貴重なる指示と教訓を與ふるものなることを信ず。

昭和三年一月

山田 二郎

農村に於ける教育 内容目次

譯者 序

一、農村に於ける共産黨の仕事と宣傳……………一頁

- A 共産黨に就いてレーニンは何んと言つたか……………一
- B 農村に於いて如何に活動すべきか……………三
- C アヂテーションとプロバカンダとの意味の増大……………八
- D 如何にしてアヂテーションの仕事と宣傳を盛んにすべきか……………一一

二、移動政治學校……………一一

- A 移動學校の使命……………一一
- B 移動學校と郡の講習會……………一三

目次

G	移動学校の仕事の準備	二四
D	移動学校に於ける主任講師	二六
E	移動学校に於ける聴講者	二七
F	教育計畫及び教科書	二八
G	授業の方法	二九
H	移動学校授業の數的及び質的清算	三〇

三、農村婦人に對する仕事……………三一

四、アジテーションの規定及び方法……………四一
A 共産黨第十三回大會はアジテーションに就いて何んと言つたか……………四一
B 一般的な文句で無く、事實表示……………四三
C 如何なる方法(手段)によつて農村に於けるアジテーションを行ふべきか……………四五

D アジテーション出動を如何になすべきか……………四六
E ソウエート、産業組合等の改選期……………四八
F 無所屬農民會議……………五〇
G 何處で大衆的アジテーションを行ふべきか……………五一

五、如何にして農村のアジテーターを養成すべきか……………五四

A 農村のアジテーターはよく訓練されて居なければならぬ……………五四
B 農村に於けるアジテーターは何處より取るべきか……………五五
C 共産黨員及び共産青年同盟員は誰れでもアジテーターであらねばならぬ……………五六
D 大衆的集合の爲のアジテーターを如何にして訓練すべきか……………五八

六、村ソウエート……………六一

A ソウエートとロシヤ共産黨……………六一

目次

B 村ソウエートの役割と仕事……………六三
 C 村ソウエートに關する法律……………六四
 D 村細胞は如何にしてソウエートの仕事を指導し得るか……………六六
 E 村ソウエートと細胞のアジ、宣傳……………六八
 F 村民の前にする村ソウエートの報告……………七〇
 G 村ソウエートの改選期……………七十二

七、教師と農村に於ける其の社會的工作……………七四

八、「讀書の家」……………八二

A 「讀書の家」は農村に於ける政治教育事業の根據地なり……………八二
 B 郷の政治教育委員會……………八三
 C 「讀書の家」の使命……………八三

D 「讀書の家」の仕事の諸形式……………八五
 E 新聞の音讀と會談……………八七
 F 模擬裁判……………八七
 G 實地見學……………八八
 H 政治運動……………八九
 I 班の仕事……………八九
 J 「讀書の家」に於ける「赤い隅」……………九一
 K 「赤い隅」……………九二

九、農村と新聞……………九四

十、農村に於ける反宗教宣傳……………一〇一

A 宗教に對する共產黨の態度……………一〇一

農村に於ける教育

目次

六

B	宗教問題に關する共產黨の綱領……………	一〇三
C	反宗教宣傳と第十三回黨大會……………	一〇五
D	農村に於いて反宗教運動を如何にすべきか……………	一〇七
E	宗教問題に關して讀むべき書籍……………	一一二

以上

農村に於ける教育

山田一郎譯

一、農村に於ける〇〇黨の仕事と宣傳

A ××黨についてレーニンは何と言つたか

國際××黨が爲して居る凡有る活動の究極の目的は、××制度の確立である。

「××主義は社會主義最高の發展段階であつて、人々が一般の利益の爲に働かねばならぬといふ必要を意識して働く時である。我等は我等の子供の時代、或は孫の時

一、農村における××黨の仕事と宣傳

代には××制度が實施されるやうにしたいものであるが、今直ちにこれを我が國に實施することは出来ないことを知つて居る。さりながら我等は、ロシアを支配して居る××黨員は資本主義との闘争に於ける多くの困難をも敢て辭せない、と言ふのである。……」(レーニン)

社會主義が實施される時、労働者階級は「社會の階級を撤廢し、これによつて總ての虐げられて居る人々をも解放する、何となれば凡有る形式の搾取をして跡を斷たしむるからである。」(××黨綱領)

「階級を撤廢せんが爲には、先づ地主と資本家を×さねばならぬ。この事は我等が既に實行したことであるが、これは仕事の一部分に過ぎず、然も最も困難な部分ではないのである。階級を撤廢せんが爲には、第二に労働者と農民の間の差別を無くし、總ての者を勤勞者にせねばならぬ。これは一時には爲し得られないことであり、又この仕事は第一の仕事とは比較にならぬ程六ヶ敷く、自然長い時日を要す。何れか

一方の階級を廢すれば、問題が解決する譯のものではない。全社會經濟の組織的改造、個々獨立した小規模の商品生産から大規模な社會主義産業への變移、このことによつてのみ解決し得るのである。斯る變移は非常に長時日を要するものにして、性急にして慎重を缺く行政及び立法手段によつては、却つて益々遅延され、困難にされるのみである。斯る變移を速かならしむるには、廣大な範圍に亘つて農業技術を改善し、それを根本的に革新すべき可能性を農民に與ふるやう援助すること、これのみである。」(レーニン)

従て、我等の目的は××主義である。さりながら我等は、この目的を徐々に達するのである。農民にその産業を向上せしめ、鞏固ならしむるやう援助しながら、又××主義の爲の物質的根底を築きながら。

B 農村に於いて如何に運動すべきか

レーニンは××主義について、一般的な、長い話を農民にして聴かせるやうには教へて居ない。彼は言ふ、「純にして狭い××主義の理想を、一気に農村に注入せねばならぬとは、如何しても考へられない。我が國の農村において××主義の爲の物質的根底が出来ない中に、斯ることを爲すは有害であり、××主義の破滅であると言ひ得る。」

「都市と農村を——彼は言ふ——結合すること、都市の労働者と農村の農民との間に懇親を結ばしむること、彼等の間に容易に成立し得る斯る合同の形式を作ることから始めねばならぬ。これは我等の義務である。政權の傍に立つて居る労働者階級の最も重要な義務の一つである。」

都市の労働者と農村の農民は、お互の爲に働く。働くことが彼等を一緒にし、彼等の間に断ち難い関係をつくるのである。

農民を援助する爲に、労働者について、もう少し多く知ること——これが我が農村

における黨組織者第一の仕事である。

農民は、労働者が××主義的社會を造りつゝ、如何に生活し、如何に働いて居るかを知らねばならぬ。労働者階級の政黨——即ちロシア××黨（ボリセヴィキ）について、××黨と労働者階級が農民に與へて居る援助について知らねばならぬ。レーニンの一生と事業、それから彼の遺言を知らねばならぬ。

資本家と地主を敵に廻した解放的××的闘争における労働者階級の役割を明かにし、都市労働者の活動を農民に知らせ、農民の黨細胞は農民と労働者の結合を鞏固にせねばならぬ。

第二の仕事は——第一の仕事に劣らぬ重要な、そして一層六ヶ敷く且つ眞面目な仕事で——決定的なものである。即ち貧農と中農の經濟的建設に助勢すること、これである。

農民の産業が向上し、鞏固になるやう、又成長しつゝある農民の政治的活動をソ

ウエート建設の方向に向くるやう助勢せねばならぬ。

このことについてレーニンは言つて居る、

「……………アヂティターは國家の指導者であらねばならぬ、經濟的建設事業において總ての農民と労働者を指導する者であらねばならぬ。」

「總て××主義の宣傳は、實際的な國家の建設を指導するやうに行はれなければならぬ。」

労働者階級の闘争と農民階級の仕事を結び着ける××主義の宣傳のみが、根本的な政治問題の解決に役立つのである、即ち労働者階級と農民との結合を鞏固にするのである。

「この結合をば、我等が明瞭にそれを見るやうに、又全國民がそれを見るやうに、總ての農民大衆が、彼等の今の苦しい會で聞いたことの無い程落ちぶれた、會で聞いたことのない程貧しい、そして惱ましい生活と、××主義者等が遙かに遠い××

主義の理想の爲になして居る活動との間には關係があるといふことを見るやうに示さねばならぬ。普通當り前の農民が、自分は幾らか向上した、然しそれは地主や資本家の跋扈した時代において、少數の農民が向上したやうに向上したのではない——(あの時代には向上の一步一步——疑ひもなく向上はあつた、頗る大なる向上もあつた——は、百姓ムジイックに對する鞭り、凌辱、大衆に對する暴行と結び着いて居た故に、ロシアの農民は誰一人としてその凌辱と暴行を忘れはしなかつたし、又數十年経つても忘れないであらう)——と悟るやうにせねばならぬ。我等の目的は勞農の結合を計ることである。その爲に我等は、農民の觀點から遙かに遠い、幻想的なことから始めるのではなくして、彼が知つて居り、分り易い、彼の現在の貧困からでも近づき得られることから始めるといふことを實證せねばならぬ。我等は彼を助け得ること、××主義者等は、落ちぶれた、貧困な、苦しく餓ゑて居る小農民が困つて居る時、彼にすぐ現實の助けを與ることを證明せねばならぬ。」(レーニン)

C アチティションとプロバカンダとの意味の増大

アチティションとプロバカンダとは、組織と並んで、總ての黨活動の基本的構成部分である。

階級闘争の時代、地主と資本家に對し鋭い闘争の行はれて居た時代におけるアチティションと宣傳の事業は、單純なものであり、今のやうな深さと展開を要しなかつた。それは分り切つたことである。第一、地主と資本家を敵に廻す闘争は、農民に良く理解されて居たから、農民はボッセヴィキに味方すべしといふ標語だけで充分であつた、第二、農民は戦況を諒解し、命令に良く服従したから、くどい説明をしたり、説服したりする必要は餘りなかつた。

今は事情が一變した。戦線が無くなり、生活が正規的になつた今日では、農民は命令されることを喜ばない。

農民を指揮することは出来ない。——もう數年前に同志レーニンは、農民に對する黨の戦術を斯く決定した。

行政と命令は、組織に全然地位を譲らねばならぬ。

農民の政治的活動が増大しつゝあることは——農民自身も組織の意味と必要を理解して居るといふ證據である。近いうちに「組織といふことが農村の全般的標語になるであらう。」(ジノヴィエフ)

我が黨は組織の首脳部を占めねばならぬ。

「××黨以外の總ての政治的勢力は、労働者と農民の結合を破壊せんが爲に、プロレタリアートと農民を對立せしめんが爲に、即ち労働者階級の利益にも、農民大衆の利益にも反感を有するブルジョアジの目的の爲に、手當り次第、どの農民組織でも利用しようと試みることは勿論である。」(ジノヴィエフ)

總ての農村生活における社會的政治的中心として立つこと——これは農村の黨細

胞といふ細胞全部の任務である。

この事はアヂテイションと宣傳を正しく行ふことなしには不可能である。何故×主義者等の観點は正しいか、又如何してそれは貧農と中農の利益に一致するかを農民に説明し、農民を説きつけ得なくては——農民の組織をつくり、それを黨の指導の下に置くことは出来ないのである。

宣傳者とアヂテーターは、農村の生活状態を知つて居なければならず、又農民に關係した諸重要問題についての黨の觀點を知つて居り、農民の前にこの觀點を擁護し固守し得なければならぬ。

農村の生々しい實際問題に對して解答を與へ得る宣傳者とアヂテーターのみが、レニンの言葉を借りれば、農民團體の指導者たり得るのである。

この仕事は先年よりも今では一層複雑且つ困難になつたから、我が農村の黨細胞は益々努力せねばならぬし、都市の黨細胞もこれに一段の援助を與へねばならぬのである。

D 如何にしてアヂテイションと宣傳の仕事に盛んにすべきか

アヂ、宣傳の仕事に盛んにする爲には、左記のことを爲さねばならぬ。

(一) 農村の黨細胞が、農村に於ける複雑な仕事を本當にやり得る××主義者を養成することが出来るやうに、黨細胞そのもの活動に盛んにし、進歩させること。

(二) たゞ××主義者の力ばかりでなく、黨の任務遂行にあつて黨を助け得る總ての力を利用して、己れの仕事を爲すこと。

(三) 農村における基本的な仕事を洞察すること、第二次的な問題の解決に精力を浪費することなく、己れの總ての注意を實際最も主要な仕事に向け、頑固執拘にその成功を期すること。

(四) 四圍の状況を見て、最小の力で最大の効果を擧ぐるやう活動すること。

以上四個の基本的課題に簡単な説明を加へよう。

第一——農村の黨細胞そのもの、活動を盛んにし、進歩させること。農村のアヂ、宣傳計畫が、農村生活の最も主要な問題を解決するに役立つやう、該計畫を樹て得なければならぬ。上級の黨機關から出た指令を綿密に研究するのみならず、農民大衆自身の註文や要求を研究せねばならぬ。農民大衆の凡有る質問に對して農村の黨細胞が自ら解答を與へ得ないことは言ふ迄もない。それを要求するのは無理である。さりながら農民大衆は何によつて生活して居るか、その註文、その利益は何であるかを黨細胞が知つて居るやうには要求し得るし、又要求せねばならぬ。農村細胞は自ら解決し得ない問題については、上級の黨機關にその解答を仰がねばならぬ。細胞構成員等は、自ら向上する爲に撓まず勉強せねばならぬ。この目的の爲に移動學校が組織され、「讀書の家」の事業も亦この目的に副ふやうにせねばならぬ。

最後に、闘士を武装するのみならず、その數を増加する必要がある。正しい活動を爲すこと、主義の宣傳を最も活動的にして黨に接近し、そして又社會的活動の見込ある農民の間に毎日爲す(彼等を黨に引込む爲)ことは、黨細胞の活動能力を強くする爲と、黨細胞と無所屬大衆との關係を密接にする爲に是非必要なことである。

第二——アヂ、宣傳の仕事の爲に、××主義者等ばかりでなく、凡有る農村の活動的人物を引寄すること、農村における總ての社會組織を利用して己れの仕事を爲すこと。

レーニンは書いて居る、「××主義社會を××主義者の手のみにて建設するといふこと——これは小兒らしい、全く小兒らしい理想である。××主義者は大海の一滴、國民の海の一滴である。」尙續けて「されば一時に二十もの仕事に手を着けて一つも爲し遂げず、疲労困憊しながら『自分で』『總てを』やるやうなことをせず、數十人、數百人の助手の仕事を監督し、整理し、修正し、又智識ある人には學ばね

ばならぬ……」

一四

如何なる助手を、黨は農村に持つて居るか？

第一に、××主義青年同盟がある。これは最も黨細胞に接近した組織であつて、我等と血が通つて居る。その活動に相當の援助を與へたら、××主義青年同盟員(コムソモール)は、黨細胞の強い、しつかりした助手になる。

第二に、黨に接近して居り、ソウエートの仕事に引込まれて居る無所屬農民が居る。「黨の決つた仕事としてやらねばならぬことは、農村において黨の周圍に無所屬農民の活動を創造し、その活動から黨の新しい力を汲み取ることである。」(スターリン)斯る農民の活動は、黨と數百萬の無所屬大衆との間の生きた關係を保持する爲に、是非必要である。

第三に、黨とソウエート政權に關係して居らぬ、無所屬の農村智識階級の一部、就中國民教育者(學校の教師)が居る。

アヂと宣傳を爲し得るやうな、頭のよい、譯の分つた同志の小數しか居ない細胞があつたとしても、その細胞が悪いのではなく、活動する見込あり、眞實、黨の仕事を助けたいと希望して居る無所屬農民又は教師のアヂと宣傳の實力を利用し得ない、或は利用することを欲しない細胞が悪いのである。

農村における凡有る政治教育事業の根據地は、「讀書の家」であらねばならぬ。「讀書の家」の仕事を整調しないで、細胞のアヂ、宣傳の仕事を整調することは思ひもよらぬことである。

農民の間に活動して居る社會的組織のうち、先づソウエート、産業組合及び相互扶助農民委員會を利用せねばならぬ。

ソウエートは利用せねばならぬ、何となれば「長く且つ眞面目に」執らるべき黨の新方針に關聯して、ソウエートは總ての國家的仕事を農民の間に行ふからであり、ソウエート・ロシヤ農民の組織に關する黨細胞の基本的活動は、主としてソウエート

トを通じて行はれなければならぬと我等は考へるから。

産業組合を利用せねばならぬ、何となればそれは社會主義に至る唯一の可能且つ最も確實な途であるから。

相互扶助農民委員會は、貧農を助けて、その經濟的向上を圖る組織であるから、不斷に黨細胞の視野の中にあらねばならぬ。

總てのアヂ、宣傳の仕事は、此等三つの重要な組織と連繫を保たねばならぬ。この連繫にして保たれるならば、最も容易且つ便宜に無所屬農民大衆の註文に應じ、その困窮を救ひ得る。

第三——的確に活動の目的を樹て、農村における基本的な仕事を進展せしむると。

この方面の主要な目標は、上級の黨機關から示され、常に黨の命令に従ひ、嚴正に行動の協調を守らねばならぬ。どの農村細胞も、統一された意志を有する全××

黨の一部であるといふことを、瞬時も忘れてはならぬ。

例へばソウエートの活動を盛んにすること、無所屬農民をソウエートの仕事に引込むこと等の命令は、その主要なるものである。

黨の新聞、黨委員會の公文書以外に、黨の命令を熟知せしめ、日常の活動に豊富な材料を供給する二つの雑誌がある、即ち

(一) 「ヂェレヴェンスキイ・コムニスト」(農村の××主義者) ロシヤ共産黨中

中央委員會の機關雜誌

(二) 「イズバー・チャターリニヤ」(讀書の家) 文部人民委員部政治教育局の機關雜

誌

されど此等の一般的命令は、地方々々の事情を顧慮して實行せねばならぬ。換言すれば、黨細胞は、黨で決定した一般的任務から流れ出る地方的の任務を、決定し得ねばならぬ。

アチタイターと宣傳員は、新聞材料の基礎の上に黨の一般的命令を諒解するに止らず、その村における地方的の任務を諒解せねばならぬ。

第四——四圍の状況判断を能くすること。この課題は密接に前課題と關聯して居る。例へば、ソウエートの活動を盛んならしむるといふ問題で、三つの村に各々異つた状況があるとす。甲村ではソウエートの活動に對し無關心である、即ち村ソウエートは稀にしか集會を開かないし、選挙に参加する者も住民の極く僅かな部分に過ぎない。乙村の農民はソウエートの活動に對し大なる興味を持つて居り、ソウエート選挙に参加する者も頗る多數である、然しソウエートそのものが官僚的で、農民の前に仕事の報告をするやうなことは減多にしない。丙村では富農がソウエートに對し大なる興味を持つて居り、それを自家藥籠中のものとし、貧農のことを忘れて、富農に都合のよいことばかりして居る。

斯の如く三村の状況が同じくないとしたら、各村の黨細胞の爲すべき仕事も亦一

様ではない筈である。

甲村の細胞は農民に對するソウエートの役割と意味を闡明すべきアチを行はねばならぬであらう。乙村の細胞はソウエートの活動、ソウエートの周圍に無所屬農民活動の創造、行政の仕事に農民大衆を誘引することを目標に主力を集中せねばならぬ。丙村の細胞はソウエートの階級的性質を力説し、貧農及び中農の利益を擁護すること、彼等をソウエートの事業に引込むことの必要を鼓吹せねばならぬであらう。

或る村では農民が黨細胞に好意を有して居り、それを支配して居るが、他の村では反感を有して居るか或は無關心である。又或る村では富農が貧農の上に權力を持つて居るが、他の村では富農に勢力なく、産業組合がよく活動して居る。——此等の事情、尙其他の種々様々な事情により、敵の力や戦況が違つて来る。四圍の状況、己れの力、敵の力を實際落ち度なく計量したら——正しく目的を樹て、その目的達

成の爲の正しい途を決定し得るものであり、又具體的の状況を見て、問題を解決し得るやう學ぶことが必要である。

黨の組織の仕事と密接不離の關係を有するアヂと宣傳は、總て此等を考慮せねばならぬ。

アヂ、宣傳の仕事が正しく進展し、廣く、深く行き渡つたら、農村における我黨の仕事はより良く農民に諒解さるゝであらう。先驅者農民等の加入によつて、我が黨は數量的に成長しつゝあり、又農村細胞の事業は質的に改善されつゝあり、細胞と無所屬農民大衆との關係は強くなり、而して労働者と農民の結合は鞏固を加へ、農業は繁榮に赴きつゝある。従つて社會主義の成長もより強く、より鞏固になるであらう、我等はより急速な歩調で窮局の目的たる××主義の方向へ進むであらう。

二、移動政治學校

農村における××黨員の政治知識は、非常に程度が低い。一九二三年の春と秋との二回の調査に依れば、村細胞の政治的無知識者が全員に對し七五—八〇%を占むる縣が大部分であつた。

第十三回黨大會は、農村に於ける黨員並に準黨員の文盲根絶をば最も忽にすべからざる黨の仕事であると認め、移動學校の形に於て此の事業を進展せしむる必要があると決議した。この移動學校こそ第十二回黨大會以後多くの縣で、農村に於ける黨の教育形式中最良のものであると證明されたのであつた。

決議文に曰く、「政治的無知識者根絶の此の形式が是も有勢になるやう、黨の組織は全力を盡さねばならぬ」と。然もこれより以前(一九二四年一月)、黨の中央委

員會は「ロシヤ××黨員中の政治的無知識者根絶に關する」通達書に於て、如何にして農村の學校に政治教育を實施すべきか綿密な指示を與へてゐる。その基礎の上に中央委員會の宣傳部は移動政治學校の規定及び教育案を作製したのである。

A 移動學校の使命

移動學校の主要な使命は——村細胞の黨員及び準黨員に初歩の政治的知識を與ふること、周圍の現實をよく理解し得るやう能力を高めること、彼等の有して居る經驗を自覺するやう助力すること、そして彼等を有爲なる黨員たらしむる準備をすること——これである。

農村に於ける移動學校は、常に××黨員、××青年同盟員の政治的無知識者根絶の關門たるのみならず、無所屬農民の活動と連繫した事業の一形式である。

一九二四年十月、中央委員會幹部會は「黨機關の前には、農村出の黨員を教育す

る大なる仕事と、先驅者農民の増大しつゝある力を政治的に指導して行く仕事とが横たはつて居る」と指摘した。

農村出身の新黨員教育に關する使命は、大部分移動政治學校の負ふ處であり、其の聽講者の中には無所屬の農村婦人をも加へなければならぬ。

而して最後に、移動學校の第三の使命は、村の「讀書の家」の一般的計畫を基礎として、政治學校外に於ける農民大衆に、政治教育を施すことである。

B 移動學校と郡の講習會

村の中央で開く移動學校と郡の町で開催する講習會とは、どちらが農村の状態によく適合するかと云ふ問題は、現在は論争されて居らぬが、中央委員會宣傳部の規定には、兩形式の適用に關し明かに述べてある。即ち講習會については、曰く

「農村の××黨員の爲に都市に於て開催する短期の政治教育講習會は、農村が極端

に飛び飛びにあり、又村細胞の構成員が少数な爲に、移動學校を派遣することが頗る困難な場合に限り組織さるべきである。」

移動學校に就いては、曰く、

「拾乃至數拾の黨員を擁する大なる村細胞を有するか、或は小細胞が比較的多數ある村には、共產黨郡委員會(或は管區委員會)の監督の下にある政治教育部によつて組織された移動政治學校を派遣すべきである。」即ち、若しも村の中心及び近傍の農村に拾乃至それ以上の黨員及び準黨員を擁して居る村細胞がある場合には、其處へ移動學校を派遣するのが最も便宜である。遠隔の地に住んでゐる黨員を、學校課程が済むまで村の中心に招集して置くことは、彼等に宿舍其の他の心配をしてやれる時にのみ許される。

C 移動學校の仕事の準備

移動學校の開始は、重要な經濟及び政治季節(農業税納入期、ソウエート改選期等々)とかち合つてはならぬ。何となれば、農村の大部分の黨員は、それ等に吸引されて、學校の仕事に熱中し得ないからである。

次に移動學校の期間及び課程は、前以て決定して置くべきであり、それから又聽講者の人的構成も適當の時期に於て定める必要がある。それは何の爲かと云へば、各人が課業の開始までに色々の準備を爲し得るやう、又黨細胞に於て講義期間聽講者の他の仕事を免すべく考究し得るが爲である(一九二四年一月中央委員會通達書)。政治的知識を有せぬ黨員及び準黨員は、黨規の下に、政治學校課程を修むべき義務がある故に、同志の中から政治學校へ派遣すべき者を選定することは、黨細胞の決議に依るべきである。

講習所の選定、設備、照明等々は村執行委員會及び村黨委員會で心配すべきである。

D 移動學校に於ける主任講師

農村の政治學校長として、又、同時に、政治學校講師としては、教育事業に経験を有し、且つ農村をよく知つて居る立派な黨員を郡黨委員會(或は管區黨委員會)が任命する。若し郡黨委員會に適當な人物がなければ、縣黨委員會から移動學校講師を派遣する。此の講師の問題は、黨機關として特に注意せねばならぬ、何となれば、政治學校の事業が成功するか否かは、多く此の講師の準備、講師の組織的經驗、教授法に懸つて居るからである。移動學校講師の給料は、地方費の政治教育豫算から出す。

農業智識を與ふる爲の農業教師、博物の教師、及び讀書を教ふる教師は時間給とし、政治教育豫算から出す。

此等の教師の講義は、政治教育の一般計畫と密接なる關係を保ち、協調して居な

ければならぬ。

E 移動學校の聽講者

政治學校の聽講者は、第一に、政治的無知の黨員及び準黨員の全部、第二に、無所屬農民及び農婦の若干數を包含せねばならぬ。後者としては先づ、復員された赤衛兵中の最も活動的な人物、農村通信員、各種社會組織に働く無所屬農民等を吸引せねばならぬ。

學校の成績は、聽講者の進歩、學力の程度等か同一なる時、最もよく擧る。移動學校聽講者の總數は參拾人を越えてはならぬ、それを十五名づゝの二級に分つ。

移動學校の課業は開放的でなければならぬ。然しながら、無所屬農民が討論に參加して主な黨の聽講者の事業に障害を與へぬやうに注意せねばならぬ。

F 教育計畫、及び教科書

農村移動學校の修業期間は(郡講習會も同様)三乃至四週間である。講習は一週六日、一日平均四時間、従つて講習時間總數は七拾貳乃至九十六時間である。その時間割は次の如し、

- 一、政治學 十五課題、一課題二―三時間(計三十乃至四十五時間)
- 二、農學 十一課題、一課題一時間半―二時間(計十七乃至二十二時間)
- 三、博物學 七課題、一課題一時間半―二時間(計十一乃至十四時間)
- 四、政治學の爲の豫備時間 十四乃至十五時間

合計 七十二乃至九十六時間、

豫備時間は、次のやうな場合の爲に残されて居る。即ち政治學校の或課題を行ふに聴講者の下準備の爲に所定時間では足りない場合の爲とか、又は時事問題を取扱

ふ爲とかである。

農村に於ける黨の仕事と相應した政治學を講ずる爲には、特殊なプログラムが必要である。斯くの如きプログラムは中央委員會宣傳部によつて作製されて居り(「政治學校」集)、現在では、廣く農村政治學校に採用されて居る。

全プログラムの構造の眞隨は、労働者階級及び農民階級の政治的並びに經濟的結合の理想——即ちレーニンの教義の根本的命題である。

政治學の主要教科書エ・ヤロスラーフスキイ著、——「農村の爲の政治學教科書」

G 授業の方法

農村政治學校の聴講者に對しては如何なる方法で歩み寄るのが正しいかといふと、それは、「政治學講習プログラムの説明書」中に示されて居る(「政治學校」集)。移動學校の主任講師は、次の二點に注意せねばならぬ。

二、移動政治學校

(一) 社會學方面の基礎知識を一つに纏まつたものに集成すること(階級闘争史、經濟政策史等々)。

(二) 取扱ふ總ての問題の材料を具體的にし、且つ農民の利益に接近させること。

(二)の爲には先づ第一に農民の既に有して居る知識及び經驗を完全に利用し、第二に、全課程を農業問題及び農村に於ける社會事業の實際問題と關聯せしめねばならぬ。

前記の事は、講義の際、講師と聽講者の關係が緊密であり、且つその地方の材料を廣く利用する場合にのみ巧く行くのである。

五 移動學校授業の數的及び質的清算

出席簿を記す爲、課題を記す爲、又討論内容を記す爲に聽講者の一人を級長或は

書記とする。二級に分たれて居る場合には、各級に一名づゝの書記を置く。

講師に取つて特に重大な、そして可なり困難な仕事は、聽講生の成績を定める事である。普通に行はれて居る學校修了の際の試験は、假令それが復習的討論の形式で爲されても、無効である。

斯くの如き方法では、よく行つて、聽講生の極一般的な人となりを知り得るに過ぎない、多くの場合、試験の結果は、偶然的で間違つて居る。

之と全く異つた結果を齎すのは、講義討論の際、各聽講生を研究する事である。殊に學校開始の第一日から組織的に此の方法を實行すれば、獲る所が多い。此の成績決定方法は農村政治學校に廣く紹介すべきものである。

三、農村婦人に對する仕事

農村に於ける黨の活躍は、農村婦人に對する仕事の活躍の上にも反映せざるを得なかつた。農村婦人活動の増大に關する最近の通信、殊にソウエート及び相互扶助農民委員會役員選舉の農婦の活動に關する通信は、一般社會の注意を惹いた。而も此の活動は、××黨及び××青年同盟員によつて立候補された候補者援助に向けられたものであつた。××黨は、農村婦人の活動力を以て、黨周圍の活動を作り得るであらう。然し乍らこれが爲には、農村婦人の先驅者に對して組織的な仕事をする必要がある。

此の仕事は非常に面倒臭いとか、此の問題は「百姓婆さん共がざわざわやる、只それだけのことさ」と考へてはならぬ。各處から來た數十の報告に依れば、農村婦

人の組織は時に或は、全然如何なる組織もない場合よりもより有害なことがあるといふ。

昨年、ベンゼンスカヤ縣に於て、此種の組織は反ソウエートの形式を執つたし、又今年もボドリースカヤ縣に於て、富裕な農婦の一團は、僧侶をソウエートに入れようとし、それが不成功に終つても、選舉の邪魔をせんとした事がある。

如何なる團體も自分等の中心、自己の指導者を持たない譯にはゆかぬ。故に組織されて居る農村婦人の頭に、黨細胞が立つやう努力しなければならぬのである。黨細胞は己れの構成員の中から農婦團體の組織者を出し、農婦間の仕事に必要な中心人物たるべき優秀且つ獻身的な婦人を黨に引込むやう努力せねばならぬ。

組織者を出した黨細胞は、彼の仕事を援助し、彼の報告を注意して聴き、又黨細胞自身の諸仕事一般の計畫の中に農婦の間に於いて爲すべき仕事を包含せしめなければならぬ。

計畫を樹て、やる事は仕事の支離滅裂を救ひ、仕事の進展を見易くする。現在、黨細胞の中に、農村婦人に對し何等かの仕事をした跡を見出し得るものは殆んど稀にして、何が爲されて來たか、新來者には全く不明である。農婦團體の組織者は頻々と交迭し、新組織者はその度毎に新規蒔直しにやらねばならぬ故に「ソウウェート政權と農村婦人」といふ報告から一步も出ることが出来ないのである。然るに他面、多數の農村に於ける活動的農婦の註文は、黨細胞から出た組織者等の提議より大きいのである。其れ故に若し黨の努力によつて我々が婦人に對する仕事を適當な高さにまで引上げなければ、事態は悪化する恐れがある。

この故に、一面からは、仕事の報告を爲し、又仕事の方針を決定し、他面からは、此の仕事を一般計畫の中に加ふるといふことは——是非必要なことである。

農婦大衆を組織する仕事は、黨の周圍に農民の活動を創るといふ、黨の一般的仕事と全然合致する。農村婦人の活動を誘引し、養成する最初の數歩は、一般的形

式、方法とは多少相違して居る。農村婦人を最初婦人の會合に、引き寄せることは、農民の場合より容易であり、彼女等に密接な關係を有する問題について話をして聽かせることもより容易である。黨は此等の特質を考慮して、仕事を爲しつつある。農村婦人に對する仕事の根本的形式は、黨をして、農村婦人の活動を誘引せしめ、そしてそれを闘争と建設の全戦線に蒔き散らさしめ得る婦人代表者會議である。

婦人代表者會議は、××××勢力を確保し得べき村及び卿に組織される。婦人代表者會議には、卿の中心の村、及び附近三、四露里の距離にある町々の婦人が参加する。それは一ヶ月に、組織的に二、三回、會議を催すに困難を感せしめぬ爲である。

婦人の代表者會議はプログラムに依つて行動するものにして、根本に於ては、「婦人勤勞者及び農婦中央部」のプログラムに據らなければならないが、然しその土地の細胞の意見により、プログラムを簡單にすることも、短縮することも出来る。兎

に角、細胞は冬季間にプログラムをすつかり片づけるつもりでなくてはならない。尙、何れの代表者會議の時にもプログラムに據る問題を一つ片づけるだけにしなればならぬ。その次には、地方政權、或はその下にある個々の委員會の報告、卿報告委員長の報告、相互扶助農民委員會長の報告、黨細胞書記の黨細胞活動に關する報告、××青年同盟員、ビオネール（少年××同盟）の報告、學校及び病院に關する報告、土地の産業組合事務所の報告等に移らねばならない。此等の報告後、當該仕事の實務に當つて居る婦人があつたなら、その婦人に先づ發言せしめて、副報告者の如くすべきである。若し黨細胞が、プログラムの問題と地方の報告とが其の性質に於て一致する様に、日程を定めるならば、一段と面白い事であらう。例へば「相互扶助農民委員會、その使命、及び農村婦人の參加」といふ問題を研究した後、其の土地に於ける當該委員會の活動に關する報告を聞き、それから更に「兩題目について討論するのである。或は又、プログラムによつて「國民教育」問題を研究した後

では、その土地の學校、「讀書の家」、或ひは、文盲根絶所の活動に關する報告を聴くやうになすのである。

婦人代表者等は、代表者會議に出席すると共に、實務を知る爲その土地にある組織や役所に配置される。各婦人代表者は自分の村に於て、何々委員會とか、何々部とかいふものゝ委員又は見習として何等かの社會的活動を爲し、黨細胞は、此等諸組織の頭に立つて居る婦人代表者を誠意を以て指導しなければならぬ。或る一つの仕事を婦人代表等に委任し、自分等の會議に招き、彼等の意見を傾聽する様にしなければならぬ。——斯くの如くにして初めて、農村婦人はしつかり足を踏み占めて立ち、ソウエート政權の優越を認識するやうになるであらう。

同時に、細胞は、特に細心の注意を拂つて農村婦人代表者會議と殘餘の總ての大衆との間の不斷の關係を監視しなければならぬ。

この目的を達する爲には、先づ第一に、婦人代表者會議構成員の人達をよくし、

次に、婦人代表者會議總會に於て定規に各代表者に己れの活動に就て報告を爲さしむるのである。

婦人代表者會議の構成に關しては、常に傭農婦、貧農婦、獨身農婦のみならず、中農の主婦をも加ふべきことを規定せねばならぬ。

黨細胞は、婦人代表者等を自分の公開の會合に呼び寄せる様に努め、又妙齡の婦人、代表者を××青年同盟の地方細胞と結びつける様に努むべきである。

黨細胞の農婦に對する仕事は、それだけに限らない。現在に於ては、婦人代表者會議と並んで、村の仕事をして居る農婦に對する仕事も非常に重大なる意義を有して居る。

現在何處の村のソウエートでも、何等かの村の組織に會員として入つて居る十乃至十五人の農婦を持つて居る。彼女等の注意を××黨細胞に向けること、彼女等と會談したり、全然實際的な忠告を與へたり、彼女等が興味を持つ仕事をして貰ふ等

して、彼女等の間に權威を扶植する事は、黨の當然爲すべき仕事である。

地方の通信によれば、農村婦人の活動は、我黨に好意を有するといふ。然し我黨に對する彼女等の同情を一層鞏固にしなければならぬ。この事はこちらから働きかけて初めて目的を達し得るのである。

活動的農村婦人に對する黨の根本的な仕事以外に、黨細胞は、普通一般の農村婦人を忘れてはならぬ。

農村婦人に對する仕事では、先づ第一に「讀書の家」を利用することが肝要である。「讀書の家」の仕事に参加しては、「讀書の家」が其の内容によりどれだけ農村婦人の興味を惹き得るか、又自分の性質により他の社會的活動を爲さない農婦等の活動がどれだけ「讀書の家」に現れ得るかを調べねばならぬ。即ち、「讀書の家」が雜誌「クレスチャンカ(農村婦人)」を取つて居るかどうか、各個農婦の生活、勞働及び向上進歩に關する記事を「讀書の家」の壁新聞が載せて居るかどうか、「讀書の

家」が農婦の通信員を持つて居るか、「農婦の隅」を造つて居るか、「讀書の家」の農村婦人に加入を勧誘して居るか、「農婦の日」又は「農婦の夕」といふやうな催しをして居るかごうかを。

更に尙ほ、細胞の會議に、その土地のソウエート、相互扶助農民委員會、産業組合等の活動に關する報告を聴く時にも、之等の機關は總て、母たる農婦、主婦たる農婦の利益をも計るべき義務があるといふ事を忘れてはならぬ。

實際彼等の間に於いて仕事が行はれて居る階級の代表者が、黨細胞の中に包含される時、その仕事は初めて容易、確實に行はれる。我等の第一の仕事は實に——我が黨内に農村婦人の數を増加せしめる事である。

四、アヂテイションの規定及方法

A ××黨第十三回大會はアヂテイションに就て何と言つたか？

黨大會は、我々が農村に於て、今如何にアヂテイトすべきかと云ふことに就いて、極めて明瞭な指示を與へた。即ち、第一我黨の農村に於けるアヂテイションは如何に進展せしむべきか、第二、その内容如何、第三、我々のアヂテイションの手段方法（大會は一般的指示も、又二個の最も重大なるアヂテイションの時期、即ち改選期と無所屬者會議の時に於いて如何に爲すべきかといふ指示も、興へて居る）である。

先づ大會は、我々の國內的並に國際的狀態が、労働者と農村の間に××黨の努力

を強大ならしめるのに甚だ好都合であることを指摘した。我國産業の向上、労働者及び農民の物質的生活状態の改善に、而してその結果として現れた彼等の政治的活動の擴大、これ即ちその情況である。

農民は、一例を挙げれば、それだけの税金を支拂はねばならぬかといふ事を知らんとして居るのみでなく、その税金は何に使用されるかと云ふことをも知らんとして居る。そして他の質問に移つて行く、即ち、ソウエート政府の政策は一體どうであるか、ソウエート政權とは何であるかと云ふ風に。この故に農民大衆の胸を騒がして居る種々の問題に對し、的確な、理解し易い解説を與ふる事——言葉を換えて云へば、巧みなるアヂテイションは成功を期待し得られる。即ち、ソウエート政府の政策を支持する様農民を説服し得るのみである。此處に我等のアヂテイションの目的がある。即ち農村に於けるアヂテイションは、出来る丈け多くの農民大衆を捉へることにある。

前述の事からアヂテイションの内容も流れ出てくる。階級戦當時のアヂテイションはたゞ唯一の標語、「ソウエート政權の擁護」であつたが、今はそれとは違つて、内容が頗る多種多様になつて居る。

「最も重要な國際的並びに國內的事件、最も重要なソウエート政權の政策、最も重要な地方問題を、倦まず撓まず、そして規則的に説明せねばならぬ。」斯くの如く、黨大會は、アヂテイションの内容を決定した。而して之等のことは總べて農村に對しても適用されるのである。

次に、アヂテイションの方法に對しては、大會は如何なる一般的指示を與へたか？

B 一般的な文句でなく、事實表示

廣く農村に於てアヂテイションの仕事を行ひ、且つ、常に心に留めて置かねばならぬことは、一般的な文句を以て農村を説き伏せる事は出来ないといふことである。

殊に現在のアヂティションなるものは、農民に近い、分り易いものであらねばならぬ。其故に之が爲には、何よりも先に、農民に一番關係の強い問題に對して解答を與へなければならぬ。

この事も大會は次の如く言つて居る、「話を最大限度に具體化し、總ての問題を聽衆が現在要求し、必要として居るものと結びつけなければならぬ、一般的な文句を繰返すが如き事は嚴に慎むべきである。」と。

故に農村のアヂティターは誰でも、例へば問題が對外貿易或は農業税に觸れた場合、農民は此の問題で如何なる事に興味を持つて居るかを、直ちに洞察しなければならぬ。

アヂティターは農民大衆が激して居る問題に、就いてもよく説明をして聽かせるなら、ソウエート政權の何かの決定は成程正しいと農民等に合點させ、黨に對する彼等の積極的援助を喚起することが出来るのである。

故に、アヂティションの内容は、成るべく事實を多く、そして明確であらねばならぬ。斯くして初めて農民を良く説きつけ得るのである。例を擧げて見やう。農民が取り入れられた收穫の量を見て、田畑の多い地方へ移住したら利益だと考へて居る時に、彼身を田畑の多い地方へ移住するやう説きつける事は困難な事ではない。

こゝでアヂティションに大なる援助を與へねばならないのは、「讀書の家」である。「讀書の家」は各種の事實や數字を蒐集し、表を作製する手傳ひが出来る。即ち其の農民班員は農業に關する、産業組合班員は産業組合や營利商店の活動に關する、政治班員は村ソウエートの仕事に關する資料の蒐集に當ることが出来る。

C 如何なる方法(手段)によつて農村に於けるアヂティションを行ふべきか

先づ××黨員及び××青年同盟員は誰でもアヂティターでなければならぬ。

××黨員は仕事の關係で、ソウエート産業組合に於て、又は日常の生活上、自分の家、隣家、或は往來に於て、農民と會つた時、常に自分は、農村に於ける××黨のアヂテイターであると云ふことを念頭に置いて居なければならぬ。彼は自分の力の及ぶ限り農民に對し其の疑惑や質問を説明しなければならぬ。そして、それ等を説明しながら、ソウエート政權の使命と政策に關する一般的な問題の方へ農民を引張つて行かぬばならないのである。

××黨員の誰もが毎日爲す斯の如きアヂテイションを、「個人的」アヂテイションと名づける。何となれば此の場合アヂテターは一、二人を相手として話すからである。

斯の如き個人的アヂテイション以外に、大衆的形式もある、これは演説、報告其他——一言にして云へば、全集會者に對して直ちに影響を與ふる方法である。

D アヂテイション出動を如何に爲すべきか？

アヂテイション出動の成功、不成功は一にその準備如何に懸つて居る。準備としては先づ出来るだけ多數の參加者——××黨員、××青年同盟員、無所屬にして黨に接近した農民（復員された赤軍兵卒、ソウエート委員）其他その土地の有識者階級即ち「讀書の家」の管理者、圖書館司書、教師、農業教師、醫師——を吸引しなければならぬ。

黨細胞に於て出動計畫を樹てる事から始めて、その實行の終るまでの間——前記の參加者等は積極的に活動しなければならぬ。

黨細胞は參加者を定め、出動計畫を樹てたなら、參加者に指令を與へなければならぬ。

この事は細胞の公開の集會に於て、出動の題目に關する報告を爲した上、行ふが最もよいことである。

これが濟んだなら、出動準備に關する仕事を各個の組織及び同志に課するのであ

る。即ち「讀書の家」に對しては相當の演劇の仕組と歌（演劇用及び合唱用）を作ることを課し、新聞班に對しては壁新聞を發行すること、又圖書館班に對しては書籍、新聞等を整理することを課するのである。

若しも農村に長が居たら、彼からも報告者を出して貰ふとか、映書等を貸して貰ふとか、その援助を受けるようにしなければならぬ。

以上の如き準備を整へたならば、出勤が徒勞に終ることはないと思つてよい。

尙、農民には課題、決議文の作製等に於て自分の考へを發表する可能を與へなければならぬ。

E ソウエート、産業組合等の改選期

改選期は農村に取つて極めて重要なものである。

村ソウエート、卿執行委員會、農村産業組合等の役員構成は、其等機關の活動

に關するのみならず、及ソウエート政權に對する農民の態度にも可なりの關係を及ぼすものである。吾人が前項に於いて述べたことは、總て、此處にも適用され得る。一例として、ソウエート選舉の場合を取らう。第一、候補者名簿の作製問題。これには農村の活動家を參加せしめねばならぬ。而して、候補者は村全體に知れ渡る様に立候補し、彼等の人物を廣く宣傳しなければならぬ。無所屬の候補者でも、それが若しソウエートの考を持つて居り、貧農か、中農であつたら、恐るゝ必要はない。而して又候補者名簿の完全を主張する必要はなく、若し逃げる者があつたら、その候補者の替りに他の者を立てなければならぬ。

第二、廣く選舉人の前に、ソウエート議員等の報告會を開かねばならぬ。年に一再ならず、頻繁に報告會を開き、ソウエートと農民の關係を緊密にしなければならぬ。アチテ、イション出勤に關する委員會には是非無所屬農民を加へなければならぬ。

議員の報告は、教師、「讀書の家」の管理者等を利用して作製せしめた圖表類を用ひ、明瞭になされなければならぬ。

産業組合役員改選の時には、報告會に於て、産業組合が當該會計年度に於いて何を爲したか、若し農民が活動的であつたなら更に何を爲し得たかを闡明にせねばならぬ。以上が改選期に於けるアヂテイションの一般的方法である。

F 無所屬農民會議

此の會議の役割は衆知のことである、村ソウエートの仕事に對する補助的形式として、現在此の會議の意義を高唱する事は必要である。

無所屬農民會議には出来るだけ多數の農民代表者を招集する事が望ましい。會合の際論議し得るやう、議事は前以て發表して置かねばならない。議事の件数は餘り多くない方がよく、二、三件の最も活潑な問題がよいであらう。國際的狀態に關す

る特殊な問題は提出しない方がよい。報告は簡單になし、討論に多くの時間を當つべきである。決議文は豫め作つたものを提出せず、其の會議の提議に基づいて作製すべきである。此の場合、紙に書いたものを出す人があつたら、之を集め、質問する人があつたら書き留めて置かねばならぬ。若し會議の席上總てに満足なる解答を與へなかつたら、「讀書の家」で其の主題に關し、人々と會談を爲し解答を得るやうにせねばならぬ。而して其の解答は壁新聞にも之を掲載しなければならぬ。取り集めた紙片と質問を書き留めたものは、必ず之を××黨委員會に送附しなければならぬ。

G 何處で大衆的アヂテイションを行ふべきか？

農村に於ては何處で大衆的アヂテイションを行ふべきか、場所の問題も非常に重大なる意義を持つて居る。最も良い場所は「讀書の家」である。此處では、環境も、條件も、此上なく好都合である。

大衆的アデティションの爲には、農民のあらゆる集合を利用しなければならぬ。例へば村民集會などがそれである。農民をソウエートの名によつて招集する様にし向け、農民階級の廣汎なる大衆を集め、且つ、集會には稀序を樹てる様にせねばならぬ、——即ち議長を選び、議事の件を定め、更に討論の制度を採用すると云ふ風にやるのである。ラツバのやうな聲を持つて居ると云ふ事だけで屢々勝利を得ることのある彌次馬に反對して戦ひ得るやう農民を訓練しなければならぬ。

大衆的アデティションの爲には、尙、定期市や市場を利用したり、廉價な農民用の文獻、新聞の販賣を行つたり、購讀申込を勧める宣傳を爲したりしなければならぬ。何かのミーチングを組織する爲には、農民の群集する定期市や市場を利用し得られる。市場で、當面の問題に就いて、個人的或は集團的の會談を行ふ事は最も容易である。此事は、地方の××黨員や××青年同盟員等が良く訓練されて居るなら、成功なし得るであらう。只、常に念頭に置かなければならぬ事は、アデティシヨ

ンの目的の爲に定期市や市場を利用する場合、農民に近づくには、巧く、眞面目に近づき、其の時最も農民の興味を惹いて居る問題のみに就て話さねばならぬと云ふことが必要なことである。

五、如何にして村のアヂテイターを養成すべきか

A 村のアヂテイターはよく訓練されて居なければならぬ。

階級闘争時代には、農村に於けるアヂテイションは現在の様に複雑なものではなかつた。十月革命の勝利を脅す直接の危険は、白軍將軍の來襲であり、彼は地主、資本家と聯合を形成して居た。その事は極めて明瞭な、了解し易い、そして確實なアヂテイションの材料を與へてくれた。故に當時は××黨員であつたら誰でも——労働者、農民、赤衛兵——農民の前に進み出で、成功すること易々たるものであつた。現在は、事態が全く變つて了つた。政治的並に經濟的狀態を、さう簡單には判斷

する事が出来なくなつた。殊に訓練を経ぬ農村の同志に取つては、尙ほ更の事である。而も他方、農民階級の活動は増大し、アヂテイターに對して以前より高い要求を爲すやうになつて居る。現在、農民に對して、彼の心を騒がして居る問題を闡明し、彼を説きつけることは、しかく容易な事ではない。

この爲には、農村のアヂテイターは、第一に、農民の心を騒しつゝあり、其の氣持に影響を與へつゝある問題全部を知つて居なければならぬ。第二に、其の問題に對する我黨の政策を知つて居なければならぬ。第三に、自己のアヂテイションに於て、農民の質問に對する解説とソウエート政權が今爲さんと欲して居る仕事に左袒するアヂテイションとを結び附けねばならぬ。

この事は總て、農村のアヂテイターに頗る綿密、眞面目な訓練を要求する。

B 農村に於けるアヂテイターは何處より取るべきか。

五、如何にして農村のアヂテイターを養成すべきか

第一に、これは勿論我が××黨の黨員である。

然しながら、我等の農村細胞は多くの場合、人員が少いし、全然それが無い村も非常に多い。茲に於て其の補助として來るものは××青年同盟員である。而して最後に、無所屬農民——嘗て同志スターリンが吾が××黨を積極的に援助しつゝある所の黨周圍の層を造る必要があると指摘した無所屬農民——を考慮の外に逸してはならない。(復員された赤軍兵士、農林官吏、ソウエート議員等)

以上三者の中から農村アヂタイターを定めるのである。

只一つ困難な事には、彼等の總ては非常に薄弱な訓練を受けて居るに過ぎない。農村に於ける××黨員の間に如何に多數の政治的無知識者が居るかは、我等の良く知つて居る所である。

C ××黨員、及び××青年同盟員は誰でもアヂタイターであらねばならぬ。

此處で第一に問題となるのは、ロシヤ××黨の村細胞構成員、××青年同盟員、及び黨に接近した無所屬農民に對する政治教育の正しい取扱ひ方である。此の事は、我等が前に述べた農村アヂタイターに對する三つの註文を満足せしむるやう、爲されねばならぬ。

具體的に言へば、

(一) 先づ、ロシヤ××黨細胞及びロシヤ××青年同盟細胞の總ての構成員は、移動學校を卒業する様に努めなければならず、或ひは又自己の知識を豊富にする様獨習會を組織し、勉強は如何なる場合に於ても中斷してはならず、而して學校に於て、卒業後は獨習會に於て、或ひは家庭に於て、冬も夏も、××黨員及び××青年同盟員は、常に書籍を讀み、新聞其他を讀み勉學を怠つてはならないのである。

(二) 村細胞の總會に於ては、丁度その時農民の心を波立たせて居る問題に就い

て報告をなし、其の問題の批判と××黨及びソウエート政權の政策とを結びつけなければならぬ。斯る總會は成るべく度數多く開催し、それに××青年同盟員及び黨に接近した無所屬農民を吸引しなければならぬ。

かくの如き方法によつて、吾人は××黨員、及び××青年同盟員の總てを、アデティションに向くやう訓練するのである。

D 大衆的集合の爲のアデティターを如何に訓練すべきか？

××黨員及び××青年同盟員の誰もが爲さねばならぬアデティション（それを我々は個人的アデティションと呼ぶ、何故なれば、アデティターは一人乃至二人を相手にしてアデティションを行ふから）以外に、大衆的アデティションがある。それはアデティターが多人數の集合に對して行ふアデティションである。例を擧げるならば、ミーチング、報告會、或ひは「讀書の家」に於ける演説の如き之である。この種のアデティ

ションには良く訓練された話上手の同志を必要とする。

黨細胞は斯る同志を選抜して置く必要がある。若しもその數が相當あるならば（市都に於けるが如く）アデティター班を組織することが出来る。大衆的集合の爲のアデティターは己れの準備の爲に、必ず、「讀書の家」を利用せねばならぬ。其處では「讀書の家」の管理者、圖書館司書等が各問題のために必要な材料を整頓し（例へば、ソウエート選舉、種蒔き時の準備等）援助を與へて呉れるであらう。

選抜されたアデティターは、此等の材料を共力して、慎重に研究し、農民が最も興味を有する鋭い問題を闡明にして、それに對し農民に分り易い解答を見出さうと努力しなければならぬ。

アデティターは其の地方の材料にも是非通じて居なければならぬ。（例へば、ソウエートの仕事）——此種の材料も亦「讀書の家」の管理者や圖書館司書が蒐集し、整理して呉れるであらう。

五、如何にして農村のアデティターを養成すべきか

彼等は又アヂタイターに助力をして、アヂティションに必要な其の地方材料の一目瞭然たる圖表(耕地整理、税等に關する)ポスター等を作製して呉れるであらう。

アヂタイターの援助には教師をも引きつけねばならぬ。

アヂタイターが徹底的に準備して、農民の前に進み出て語るべき問題を凡有る方面から研究し盡したら、初めて彼を集合の場所へ送り得るのである。

上手な報告者が若干名居る所では、準備の爲アヂタイター等は協同作業を爲し得る。

それが一人か二人しかない所では、準備の方法も亦違つて来る。即ち自分で自分の準備をしなければならぬ。然しそれにしても「讀書の家」や教師から援助を受ける可能性はあるのである。

最後に、農村アヂタイターの讀むべき物を示して置かう。

一、中央の農民新聞の中一種、即ち「クレスチャンスカヤ・ガゼータ(農民新聞)」

か「ベドノター(貧窮)」か、それから自分の地方の農民新聞一種を必ず讀むこと。

二、ロシヤ××黨中央委員會の雜誌「ヂェレヴェンスキイ・コムニスト(農村の××黨員)」

三、雜誌「讀書の家」

六、村ソウエート

A ソウエートとロシヤ××黨(ボリセヴィキ)

「總ての権力はソウエートに」——此の標語の爲にボリセヴィキは闘つて來た。而してボリセヴィキのアヂタイターはソウエート政權の爲のアヂタイターであつた。ボリセヴィキの勝利は即ち、ソウエートの勝利であつた。ボリセヴィズムとソウエートは互に相離るゝことの出來ぬものであつた。

強い村ソウエートは、××黨員が良く活動する事を語つて居る。農民階級に對して勢力を有せず、無所屬農民から引離されて居り、彼等をソウエートの仕事に引寄せ得ぬ、そして農業の發達を助長し得ぬ弱いソウエートは黨員の活動が足りない事を證明して居る。

××黨員は労働者と農民の利益の爲に、到る處でソウエートの仕事を正しく、そして努力して成功する様に爲さなければならぬ。

B 村ソウエートの役割と仕事

村ソウエートの命令は、村の住民として守るべき義務がある。村ソウエートは村に於ける唯一の斯る機關であり、ソウエート政權の機關である。

ロシヤ××黨の村細胞は何等の行政權を持たぬ。即ち何人にも命令する權利を持たぬのである。村細胞の意志表示が全村の住民を拘束する爲には、政權の合法機關たる村ソウエートにて採用されてからでなければならぬ。村ソウエートの認可を得ない村細胞の規定は、細胞構成員を拘束するだけである。

然し乍ら村ソウエートは、以前の村長の様な權力機關ではなくして、村ソウエー

トは農民自治機關の最良の形式である。周圍に村の勤勞者を統一する中心である。國民はソウエートを通じて國政に参加し、ソウエートを通じて自己の生活改善問題をも解決し得るのであり、又農民と勞働者の結合もソウエートを通じて實現されるのである。

村ソウエートは、全ソウエート政權の一般的使命を村に誘導するものであり、無智、泥酔、其他の農村生活の惡徳と闘ふものである。

ソウエートの仕事の最後の目的は社會主義建設の實行である。さればこそ我がソウエート聯邦を社會主義ソウエート共和國聯邦と呼ぶのである。

C 村ソウエートに関する法律

第二回全露中央執行委員會は一九二四年十月新規に「村ソウエートに関する法律」を制定した。此の法律は著しく村ソウエートの權限を擴張した。村ソウエートは多

くの新しい經濟並に行政權を得た。村細胞は此の法律を綿密に研究して、如何にして之を活用すべきか深甚なる考慮を費さねばならぬ。そして村ソウエート、村民集會、又は「讀書の家」に於て分析し、解説して、全農民階級に此の法律を呑み込ませなければならぬ。

それから又、同じ第二回全露中央執行委員會で制定された郷執行委員會に関する法律も、詳細に知つて置かねばならぬ。

此處で、村ソウエートに関する新法律の内容を述べれば、農村に於ける經濟的並に文化的建設の凡有る問題は全部村ソウエートの權限内にある（農業の向上、耕地整理、産業組合、職業同盟、及び相互扶助農民委員會に對する援助、稅務、農村施設、國民教育、其他）。

すぐれた農民先驅者及び農婦が村ソウエートの仕事に愈多く吸引されるればさる、程、又農村に於ける智識階級（先づ第一に教師と農業教師）が村ソウエートの仕事に

愈々廣く誘引される程、更に又、××黨員等が村ソウエートの仕事に益々多く参加すればする程、それ丈村ソウエートの前に横たはつて居る使命は良く解決されるやうに成るであらう。

D 村細胞は如何にしてソウエートの仕事を指導し得るか？

村細胞はソウエート議員たる××黨員等を通じてソウエートの仕事に参加する。ソウエート議員たる黨員等は、ソウエートの××黨派を成し立て、居る。

××黨派はソウエートの一部分である。部分は全體より大であり得ない。然し乍ら、部分は、権利を有して居るから、其の提議がソウエートの多數によつて容れらるる様に努力しなければならぬ。此の事は、部分の提議が良く研究されて居り、良く考慮されて居り、而して農民階級の利益に適應するであらう時、初めて出来るのである。××黨派が自分の決心を實行せしむる方法は一つしかない、即ちそれは

他人を信服せしむる事であつて、決して命令ではないのである。

ソウエートの××黨派は村細胞の指示によつて活動する。細胞はソウエートの仕事に無關心では居られない、否細胞はソウエートの凡有る仕事振りを不斷に見て居なければならぬのである。

村細胞が、××黨派を通じて、ソウエートの活動に對し己れの指導を實現し得る爲には、即ち××黨派に對し明確な指示を與へ得る爲には、村細胞は前以てソウエートの仕事の總ての重要な問題を根本的に研究し、その仕事と黨の一般的政策、戦術、及び指導的命令と結びつけなければならぬ。

而してレーニンの方策はソウエートの事業の中に於て保障されなければならぬ。ソウエートは、レーニンの遺言の實行に向つて努力しなければならぬ。而して村細胞は此の事に關してソウエートに途を教へ、援助を與へてやらねばならぬ。特に配慮しなければならぬ事は、中農の擁護、小農の助勢、貧窮の扶助である。ソウエ

ートの凡有る實際的活動は労働者と農民の結合を鞏固にするものであらねばならず、村細胞とソウエートの××党派とは此の事を夢寢にも忘れてはならない。

E 村ソウエートと村細胞のアジ、宣傳

ポリセヴィキーのアチティションは、何時でも的確な、明瞭なものであつた。勝れたポリセヴィクのアチティターは空虚な、漠たる喋舌を好まぬ。ブルジョア諸外國が××黨のアチティションと宣傳を怖れる事の甚だしいのは故なりと言はねばならぬ。彼等は、ポリセヴィキーのアチティションは太洋を越えて射撃し、大砲よりも良く、ブルジョアジエを打つことを知つて居るからである。

特に明瞭で、的確でなければならぬのは、村細胞のアチティションと宣傳である。

「概して」てふ判断は一切避けなければならぬ。アチ宣傳事業は、或る期間内に住民、その者を一定の處に到達せしめねばならぬ。文盲根絶、地主時代に作られた舊生

活状態の改革、讀書人の増加、新聞申込の増加、村の施設の増加、農業經營法の改善等々。

かるが故に村細胞のアチ、宣傳の仕事は、ソウエートの總ての仕事と連繋なきを得ない譯である。村の現實を一段向上せしめんが爲にアジをなす細胞は己れの計畫を村ソウエートの事業計畫と協調せしめなければならぬ。ソウエートの仕事計畫は達成し得べきものであるやうに組立てられなければならず、而して其の仕事に對するアジと宣傳を爲す時には、實際村ソウエートと農民がそれを自分の仕事であると考へ、それを實際完全に實行するやうにアチティションしなければならないのである。

此處に記憶すべきことは、すぐれたアジ、宣傳の仕事と云ふものは講演、演説、ミーチング等の數に依つて計らるゝのではなくして、仕事の最も重要な方面に於ける具體的成功によつて計られるものであると云ふ事、これである。仕事の成功が大きい

くさへあれば集會や講演の度數は少くてもアジティションは巧いのである。仕事の成功、文化的及び政治的水準の向上——これがアジ、宣傳の仕事の成績を計る唯一の尺度である。従つてソウエートのすぐれた仕事がない場合には、アビ、宣傳の仕事が巧く行つて居るとは認められないのである。

F 農民の前にする村ソウエートの報告

農民階級の政治的活動、換言すれば、農民の國政に参加せんとする努力は増大しつつある。村ソウエートは此の活動を自分の中に取り入れ、村ソウエートの仕事發展てふ河床に向けなければならぬ。

村ソウエートは適當の時農民の前に事業報告を爲すやう特に注意しなければならぬ。これは農民に對して己れの政權を批判し、それに忠告を與ふる可能性を得しめんが爲であり、ソウエートの事業に於て農民の集積した、豊富な經驗を見せしめん

が爲である。

然し此の際の批判は根據のないものであつてはならぬ。村ソウエートは、報告批判の結果、今後如何に仕事を爲すべきか、何を改正すべきかの指示を受けなければならぬ。

村細胞の構成員たる××黨員等は、村ソウエートの報告前、細胞に於て、ソウエートの仕事を審査し、其の將來の仕事に對する根本的な指示を作り、そして、その指示をソウエート報告の際に於ける決議文の中に記入せしむるやう主張しなければならぬ。

G 村ソウエートの改選期

村ソウエートの改選期は、農村に於ける重要な時期である。此の時期に於ては、ソウエートの凡有る仕事に決算を爲し、其の成功と不成功とを批判して、選舉人等

が新しい村ソウエート議員を選挙するのである。

改選期までに村細胞は十分の準備を整へて置かねばならぬ、何となればソウエートの仕事の決算は村細胞の事業の決算であるから。

ソウエートの全権の期間は終る。若しも村細胞が大衆と充分な連絡を有して居たなら、而して又、若しもソウエートの報告が選挙人の前に正しく行はれたなら、細胞は、如何なる程度まで、村民がソウエートの仕事に満足して居るか、或ひは不満を抱いて居るか、ソウエート職員の誰が村民の信任を獲ち得たか、或は得なかつたかを知らなければならぬ。

改選期に於て村細胞は、自分の手から發意を失つてはならないし、又舊ソウエート及び其の個々の職員に對する一定の方策を持たなければならぬ。而してその全構成員はその實行に飽迄努力し無所屬農民の意見を十分参考して、誰を新ソウエートの議員に出すべきか、誰をすぐれた黨員、農婦、農民先驅者、智識階級の中から

選挙すべきか、豫め研究して置かなければならぬ。

自分が出した候補者に對して村細胞は、此等の候補者の周圍に村細胞に親しい住民の層（無所屬のソウエートの活動家）を作りつゝ、廣汎なアデティションを行ふ様に努め、又法律を破ることを許さず、選挙運動が正しく進行するやう監視し、又農民階級の要求を研究して、新ソウエートに對する訓示案を作製し、それに村民の大多数が賛成するやうアデティションすべきである。

要するに、村細胞は、命令するのではなく、實際村の社會、政治的中心たるべく、廣汎な組織的活動を選挙期に於て展開しなくてはならぬのである。

七、教師と農村に於ける其の社會的仕事

ソウエート聯邦全體に撒き散らされて居る參拾萬の農村教師は、事實上農村に於ける殆んど唯一の文化的勢力である。一九二五年一月開催された教員大會は農村教師に課せられた役割を確實にした。その役割とは即ちソウエートの文化と知識を廣汎な農民大衆の中に弘めることである。

これから事實如何なる風に、そして如何なる方針で、農村教師を社會教育、特に政治教育の仕事に引込み得るか研究して見よう。

「讀書の家」は、農村の文化的並に政治的活動の中心である。「讀書の家」のない處では村ソウエート、學校に於ける「赤い隅」が此の役割を勤める。「讀書の家」や「赤い隅」に農民等は新聞を聞きに集まるのである。教師は新聞を音讀して聞かせ、

分らぬ個所を説明したり、報道されて居る事實に解説を加へたりするのである。

「讀書の家」と「赤い隅」の權威は、農民が其處に行つて、土地利用、納税、國家保險、ソウエートの法律等に關し自分に必要な詮義の知識を得る程度に懸つて居る。農村に於ける他の文化的勢力（裁判官、稅務官吏、農業教師、醫師）と並んで、教師も亦、「讀書の家」の質疑解答に参加しなければならぬ。教師は或は忠告を與へたり、或は組織的援助を與へたりして、農民の文化的計畫に力を貸さなければならぬ。文化的計畫といふのは例へば農業生産合同の組織、農業組合、種子組合、共同耕作、機械使用等の農業法の改良等である。

「讀書の家」或は「赤い隅」に於ける農業教育及び農民階級の無知との闘争は普通農業教師によつて行はれるのであるが、農業教師の居ない處では、教師がこの仕事を爲さなければならぬ。そして農民班を組織し、講演や質問應答を爲し、もし出來るならば幻燈を應用して説明したり、模範農場へ實地見學を爲したりすべきである。

「讀書の家」の他の文化、教育事業の形態は——自然科學、演劇、歴史等の研究班の組織及び種々の問題に關する講演、報告、質問應答であるが、總て此等には教師の参加及び援助が必要である。

現在到る處、「讀書の家」に於て、又「赤い隅」に於て、「レトニンの隅」が組織されて居る。「レトニンの隅」はレトニニズムの宣傳形式として、農村の政治教育の仕事に非常に大きな意義を持つて居る。教師は此の隅の組織に援助を與へ、材料を蒐集して藝術的に配置し、一見してこの隅が、××的建設の根本問題に關するレトニンの教義と其の村に於けるレトニンの遺言實行の達成を現して居るやうにしなければならぬ。

「讀書の家」に於ては「レトニンの隅」以外に農村婦人、無神論者、及び××少年同盟員の隅を組織することが出来る。こゝに於ても教師は××青年同盟員や婦女代表者等に援助を與へ、彼等が各組織の目的及び使命を明瞭に説明し得るやうにしなければならぬ。

ればならぬ。

教師の最も廣汎な利用は、文盲根絶所に於ける仕事である。たゞに文盲に直接讀書を教ふるのみならず、「文盲根絶會」を組織して農民大衆を此の仕事に引寄せらうにしなければならぬ。

現在農村に於ては農村通信員運動が益々盛んになつて居る。教師は精神的に農村通信員を援助し、彼の權威を高め、彼が己れ思想を巧く表現し得るやう導いてやらねばならぬ。尙、教師は此の事と並んで、「讀書の家」や「赤い隅」に於ける壁新聞の編輯に参加し得る。最後に、教師は衛生、保険、及び妖術驅逐の方面に於ける初步の知識を農民に與ふる所の「讀書の家」の仕事に参加しなければならぬ。此の仕事は、通常、郷に居る醫師或は補助醫によつて行はれるのであるが、これ等の入達が居ない場合には、教師がその代りを勤めなければならぬ。

村に於ける社會的、經濟的、及び政治的工作は總て其の地方の特殊性を知る事

が重要である。其故に自分の發意で其の地方の研究會を催して居る處もあるが、此の事に關する教師の援助は、頗る有益なものである。

ソウエートの社會組織に於ける教師の役割は、特別な意義を有して居る。教師の社會事業中、最も重要なものゝ一は、ソウエートの下級機關が簡易、鞏固になるやう、又其の活動が旺盛になるやう政府に助力する事である。それに次いで、地方貧農救濟諸委員會等の組織及び其の實際の仕事に援助を與へたり、参加したりする事である。尙ほ之等に劣らぬ程重要なものは農民に産業組合の思想を宣傳する事、凡有る形態の産業組合の組織を援助し、其の活動を旺盛ならしむる事である。

然しまだ教師の活動が不十分な方面が一つある、それは、××少年同盟員ビオネの養成に關して××青年同盟員を助ける事、これである。この仕事に於ける教師の役割を教員大會は次の如く決定した「××青年同盟員は黨より指揮を受けつゝ、兒童の活動を指導し、教員は××青年同盟員と力を合せ、忠言を與へつゝ、活動を助けるの

けるのであるが、彼等の上に立つことをせず、又、政治的に彼等を指導するのではない。」

以上が農村の社會生活に教師の参加し得る諸形式の概説である。

總て此等の仕事を爲すに、教師は單獨行動を爲してはならぬ。黨細胞、××青年同盟員と連繫を保つて、事を爲さねばならぬ。

今日までは黨の指令を曲解して、教師をくだらない事に使つた事もあつた。例へば、黨或は××青年同盟の細胞、郷執行委員會等は、「命令」又は動員の形式で教師を呼び出し、社會事業でもない、事務所の仕事などに使ふ事が往々あつた。然し斯る事はもう斷然止めねばならぬ。教師の廣汎な、社會的活動は、彼等が自ら進んで黨及び××青年同盟と協力する時、初めて望み得られるのである。全聯邦教員大會も、此の精神で決議したのである。黨細胞は此の正しい方策を實現し、己れの實際的活動によつて之を鞏固にするやう巧に教師に歩み寄らねばならない。ロシヤ××

黨、及びロシア××青年同盟の細胞は教師を各種様式の社會的活動に誘引するのみに止まらず、自ら學校の仕事に於いて教師に援助を與へなければならぬ。例へば學校の協議會の仕事を圓滑にしたり、學校の設備に盡力したり、教師の生活狀態を改善してやつたりすることである。

教師を社會的活動に誘引するには必ず地方委員會を通じて行ふべきである。地方委員會は教師の總ての社會的活動の負擔を考へ、學校の教育事業に差支へず、又自己の教育並に政治知識を涵養し得る餘裕あるやう、その負擔を整濟しなければならぬ。

農村に於ける教師の使命に關して讀むべき書籍。

- 一、「教師と××」ルナチャルスキイ、スィルツォフ等編纂。
- 二、「プロレタリア××と教師」ジノヴィエフ。

三、「青年××同盟と教師」ブハーリン。

四、「教員大會決議文」

五、「農村に於ける教師の使命」「ダロイイ・ネグラートノスチ(文盲根絶)」社出版。

八、「讀書の家」

A 「讀書の家」は農村に於ける政治教育事業の根據地なり

農村に於ける政治教育事業の根據地は、黨大會の決議により、郷の「讀書の家」である。而してこの「讀書の家」は、圖書館の仕事と文盲根絶に關する仕事の指導をなすべきものである。總ての、教育組織、例へば郷の諸村落に起りつゝある成人學校、諸研究團體、「赤い隅」等は、自己の仕事を「讀書の家」の一般的仕事と密接に連絡せしめなければならぬ。斯くの如き統一は、教育ある人々を正しく、便宜に、又完全に利用するといふ事と農村に於ける政治教育事業を計畫的にする事に關して、既に好果を擧げて來た。併し乍ら之も總てと云ふ譯ではない。

B 郷の政治教育委員會

第十三回××黨大會は「如何なる農村の文化的仕事も郷の範圍内に於て總ての政治教育の仕事を統一しつゝある「讀書の家」と連絡すること無くしては之を爲すを得ず。」と決議した。従て産業組合の宣傳も、農業の宣傳も、衛生思想普及に關する事業も皆、「讀書の家」と結びつけられねばならないのである。農村職業同盟の文化事業も亦 農村に於ける一般的政治教育事業の一部であるべきである。

此の目的を以て、郷の「讀書の家」には郷政治教育委員會が出來て居り、それは又同時に「讀書の家」のソウエート會議ともなるのである。

此の郷政治教育委員會には、上述の總ての組織の代表者が入つて居る。

C 「讀書の家」の使命

郷の「讀書の家」の前には、非常に重大なる使命が横たはつて居る。「讀書の家」は農村の住民に黨及びソウエート政權の政策を知らしめなければならぬ。即ち我が農業政策とか、國際政策とかの問題を知らしめ、農民は、何が彼の周圍に起りつゝあるか、何が故にソウエート政權は斯る國際政策を執るか、何が故に、農業振興の爲に斯る法律を發布するかを理解しなければならぬ。然し總ての事を良く知る爲には、他人が報告や演説をするのを聽き得る計りでなく、自分自身物を讀み得なければならぬ。この故に農民中の文盲を出来る丈け速かに根絶するやう努力する必要がある、それと並んで、農民大衆が獨立して新聞及び書籍を利用し得るやう、彼等を教育する使命がある。斯る場合には、單なる「本讀み」であるばかりでなく、「讀書の家」は其の地方に於ける各種部門の建設に貧農及び中農が積極的に参加するやう、彼等を誘引せねばならぬ。或は農業振興問題も起りつゝあつて「讀書の家」は農業智識普及の仕事に努力し、富農に對して貧農の利益を擁護しなければならず、又質疑

應答部を設けて事件を國民裁判所に提起する事に關して忠言を與へ、他の農村組織の仕事にも援助を爲し、産業組合の會員が増加するやう助力し、村民に産業組合の意味を徹底さし、農民相互扶助委員會をも設けて、貧農及び中農に取り相互扶助が如何に重要であるかを説明し、彼等を農民相互扶助の仕事に参加せしむるやう誘引しなければならぬ。

任意的諸團體の組織に關する仕事には、「讀書の家」は積極的に参加し、それ等諸團體の主旨を説明して、農民が其の仕事に参加する様勸誘し、殊に「文盲根絶會」の仕事には特別の注意を拂はねばならぬ。

D 「讀書の家」の仕事の諸形式

「讀書の家」は己れの仕事を廣汎なる農民の裡に行ふ時には、大衆的工作の方法により、一部の最も積極的な村民の裡に行ふ時には、班を組織する方法によつて爲

す。

八六

大衆的仕事の諸形式の一は「**質疑應答部**」である。此の仕事は第一位に立たなければならぬ。農民は「**讀書の家**」に於て實際的な忠言を聴き、而して「**讀書の家**」をば彼に必要な、近づき易い組織として見るやうになる。農民は、何處で農業機械を買ひ求むべきか、その価格はどの位であるか、掛賣が利くか、否か、色々問合せなければならぬ必要がある場合、「**讀書の家**」に行くのである。質疑應答部の當番の者は、又農民達の依頼により諸役所に出す書類を認めたり、親類に出す手紙を書いてやつたりしなければならぬ。農民の出す色々な質問に答ふる爲、質疑應答部には参考書として新聞の綴り、ソウエートの諸法典(民法、土地法、森林法等々)を具へて置く必要がある。

質疑應答部の仕事に就いては、管に××黨郷委員會の委員計りでなく、郷執行委員會の委員、其他總ての教養ある者(農業教師、醫師其他)も「**讀書の家**」の係りを助けなければならぬ。

けなければならぬ。

E 新聞の音讀と會談

質疑應答部の仕事は多數の農民を「**讀書の家**」に引き寄するに與つて大なる力がある。——此の事は大衆的仕事の他の形式に着手する可能を與ふるであらう。其中で先づ第一のものは新聞の音讀と會談である。これ等を爲すに當つては、農民と利害關係の深い事から始めなければならぬ。即ち、最初、農民に近づき易くて興味深い事を讀まなければならぬ。例へば、農業だとか税金だとかいふ問題から始め、それから、漸次六ヶ敷い問題に移つて行く、農業問題から國家經濟の問題へ、更に進んで國際問題へといふ工合であらねばならぬ。

F 模擬裁判

八、「**讀書の家**」

八七

「讀書の家」で開催される模擬裁判も大衆的仕事の形式である。

これは非常に興味深い、そして多數の人を引きつける教育形式である。傍聴者の種類により、其の地方生活から取つた種々の主題を用ひ得る。年寄つた、農民の居候に對しては、「農業のやり方の下手な農夫」を被告とした裁判を、農婦に對しては、「妻が婦人代表者であると云つて妻を打擲した夫に對する裁判」を、青年に對しては、彼等の希望する主題を用ひた裁判を開くといふ工合である。

G 實地見學

「讀書の家」に於て、或ひは會談、或ひは音讀、或ひは模擬裁判等によつて、研究した問題を實地見聞したなら、更に一段深い智識となる。農民等が農事試験場や政府直營農場を見學したなら「自分の農業を如何に經營すべきか」と云ふ主題で會談のみをするよりも、はるかに良い結果を收めることが出来る。又、労働者が八時間

しか労働しないことに不満を抱いて居る農民等が、製造所或ひは工場を訪れたなら、自分の考へが間違つて居た事を悟るであらう。

H 政治運動

政治運動及び××紀念日の催も大衆的仕事の一ツである。農村に於て××黨及びツウエートによつて始められる凡有る運動は、「讀書の家」に於て、又「讀書の家」によつて行はれるのである。「讀書の家」は運動の意義を解説する爲の豫備會を開き、報告書を作り、上演する物を書き、壁新聞に運動の意義を報道するのである。

I 班の仕事

「讀書の家」の仕事を深化するのは班である。班の種類は實に多種多様である、農業班あり、産業組合班あり、政治學班あり、圖書班あり、新聞班あり等々である。

然し班の数を多くする必要はない。寧ろ一つ或は二つの班を組織し、その仕事が農民階級の實際の要求と密接な關係を持つて居るやうにした方がよい。良く働いて居る班の仕事は、其の結果に於て該村の生活を何等か改善しなければならぬ。若しも産業組合班が農村に産業組合員でない農民は一人もないと云ふ處まで漕ぎつけたなら、其の班は自己の使命を果した譯である。

又、農業の爲には土地の廣い處が有利であると云ふ事を提唱する農業班は、アヂティションの方法により土地の廣い處へ村民を移住せしめて、初めて使命を果した事になる。

班の仕事に於て、「讀書の家」はその班の各員の自立的活動を遂げしむるやう努めなければならぬ。指導者の役割は只、各員に自分の意見を發表し得る可能を與へ乍ら、仕事の方針を定める事だけである。班の各員が積極的である班こそ、立派な班であらう。

而して、是非必要な班は、農業班と新聞班とである。

政治學班は、それを指導し得るだけの人数と、文獻がある時に初めて、組織すべきである。それ等が無い時には、移動政治學校を利用するがよい。

ジ 「讀書の家」に於ける「赤い隅」

諸班の仕事は、「讀書の家」に於ける「赤い隅」と密接な關係を有しなければならぬ。これ迄、「讀書の家」に於ては此の事が巧く行つて居なかつた。「赤い隅」は往々、「讀書の家」の一般の仕事から切離されて居り、官の展覽會といふ性質を帯びて居た。元來、「赤い隅」は班の仕事の現れた結果であり、「讀書の家」を訪ねる人と會談する爲の資料を提供するものである。此の故に、「赤い隅」の組織に着手すべきは諸班自身でなければならぬ。そして肖像やポスターや文獻計りでなく、自分で作製した諸材料、地方生活の諸材料をも蒐集せねばならぬ。かくして初めて「赤い隅」は

「讀書の家」を訪れる人には誰にも興味深いものに成るであらう。

Ⅴ 「赤い隅」

斯くして此の「讀書の家」を訪問する人の数は日を追うて増加する。農村で知識欲に燃ゆる人達は愈々益々増加する。まだ「讀書の家」の仕事が行き届かぬ郷の僻地には、別個に「赤い隅」、研究班、文化委員會が起りつゝあり、此種の組織は個々別々に自分等の乏しい力で仕事を爲しつゝある。

「讀書の家」は此等の「赤い隅」に於ける下級教化細胞の仕事を統一し、彼等の仕事を指導してやらなければならぬ。

「讀書の家」の根據地たる此等「赤い隅」の仕事は、農民を語り合つて新聞の共同購讀申込を爲すことや、音讀會を開催することであらう。彼等に大なる要求をすることは出来ない、又、その必要もない。只彼等の中の優良なるものは、恵まれた條件

の下に其の農村の「讀書の家」として發達するであらう。

九、農村と新聞

新聞の農村進出は著しい成果を擧げて居る。第十三回黨大會に於て決定を見た課題——『農村全部に二百萬の新聞、或ひは、拾戸に一新聞』——は、現在既に殆んど爲し遂げられて居る。然し乍ら新聞の退出は、甚だしく不均等に行はれて居るのである。二戸に一新聞と云ふ様な村(ヴォロネジスカヤ縣、ウスマンスキイ郡、ウスマンスカヤ村の如き)が有るかと思ふと、まだ全然新聞の入らぬ様な村もある。

農村×黨員の第一の使命は、農民を中央の「農民新聞」及び地方の農民新聞と親しませることである。農民に、新聞を読む能力を與へてやり、彼に新聞の意義を説明し、新聞購讀者の一人にしなければならぬ。但し新聞購讀者にするには、如何なる場合に於ても強制的にすべきことではなく、個人的アデティションによるべきで

あつて、村民集會に於て團體決議を爲すが如きことは絶対避けなければならぬ。ヴォロネジスカヤ縣新聞は、現在五萬部以上發行して居るが、此の數萬の讀者を如何にして獲得したかと云へば、郷から郷へ、村から村へ農民の家を巡廻しつゝ新聞のアデティションを行つたからであつた。斯るアデティションの方法のみが、効果を收め得るのである。

農民新聞は、農民が新聞の利益と意義とを認識した時から、農村に於て廣く讀まらるゝやうになるものである。而して新聞の利益は二重である。即ち新聞は農民に取つて興味ある問題を報道し、更に農民の總ての質問に答へる。

中央の「農民新聞」は一月約四萬の手紙を個々の農民から受取つて居る。そして一として回答せずには置かぬのである。農民新聞の多數は、特別の「相談所」を設けて居て、「相談所」は凡有る農民の不平苦情に對して忠告を與ふるやう努めて居る。

この方面の仕事が最も多く農民の讀者を引き附けるのであるから、新聞のアデティ

シヨンをする時には、巧みに之を言ふべきである。

次に新聞を読むやう農民を導かねばならぬ。最初の間は「讀書の家」か「赤い隅」に於て農民を集め、最近發行の新聞を讀ませ、一緒にそれを批判すればよい。然し何時も大勢の人に新聞を讀んで聞かせるだけでは駄目である。農民と云ふ者は、新聞を聴くことを好む計りでなく、又、自分でそれを讀み、自分に最も必要な事をその中で探し、そして必要な材料のある新聞を取つて置きたがるものである。

中央の「農民新聞」及び地方農民新聞の多數は、新聞代が非常に安い。中央の「農民新聞」も、地方農民新聞の多數も、郵便電信局を通じて申込みばよろしいのであつて、尙、大概の場所へは特別の送料を要せぬのである。

更に大切な事は、農民が、中央の「農民新聞」及び地方の農民新聞へ手紙を出す時には切手を貼らなくてよい事である。

農民新聞の購讀申込を増加せしむる爲には、新聞の配達が正確に行はるやうに監

視しなければならぬ。多くの郷に於ては、現在、巡環郵便が行はれて居り、其處では比較的新聞配達が正確である、然し巡環郵便のない處では、××青年同盟員及び黨の細胞は郷執行委員會や村ソウエートで新聞を煙草の巻紙にして吸つて了はぬやう、新聞が正確に農民の手に配達される様監視しなければならぬ。多くの場所に於ては、新聞の配達を××青年同盟員自身で引受けて居る。出來得べんば、村の執行委員をこの事の責任者にするがよい。

印刷されて居る農民新聞の購讀申込を勧むるアチテイシヨンと並んで、極めて重要なことは、農民の注意を壁新聞に惹きつけることである。壁新聞は、譯の分つた黨員又は××青年同盟員の居る所では、郷に於ても、農村に於ても發行することが出来る。壁新聞の發行に就いては、農村の智識階級、即ち、教師、農業教師、醫師等をも誘引しなければならぬ。壁新聞に書く記事は自分の地方の出來事、産業組合の事業、相互扶助委員會の活動等である。農村の新聞に當局がとやかく云ふだらうな

「面を農村に向けよ」と云ふ黨の標語を眞面目に了解する必要があると言つて、又此の標語は農村の××黨員等が自分自身を農民に批判して貰ふ事を要求するものであると言つて長廣舌を振つた。壁新聞の斯の如き批判は、若しそれが根據のあるものであつたなら、細胞の構威を傷つけない計りではなく、却つてそれを強固にするものである。この故に、農民は誰でも自分の不満を自分の胸の中に秘めて置かず、それを壁新聞に書く程壁新聞を農民の間にポピュラーなものにしなければならぬのである。

いま一つ新聞に關して非常に重大な問題がある。それは、出来るだけ多數の農民をして絶えず、新聞に通信を送らしめる事である。その爲には斯うすれば一番宜いであらう。即ち、農村に於て「讀書の家」或ひは學校に、「新聞の友」會を組織し、此の會をして新聞購讀申込のアデクションを爲さしむると同時に、壁新聞、縣或ひは

中央新聞への通信に農民を誘引せしむるのである。

新聞を通じて、周圍の生活の不满と闘ふことを農民に教へなければならぬ。若し農民が或る不秩序に就いて不平を言ふならば、その事を新聞に書く様に農民に忠告しなければならぬ。

それから又、新聞の効果を注意して居ることも、極めて肝要である。若しも新聞紙上に掲載された記事が反響を呼び起したら、其の記事を新聞から切り抜き「讀書の家」或ひは「赤い隅」に貼り出さなければならぬ。尙又、壁新聞の紙上には、指摘された缺陷不滿に對する産業組合、相互扶助委員會等の回答を掲載することも必要である。

以上が農村に於いて新聞に關して爲すべき仕事の輪廓である。農民新聞に對して眞面目な、注意深い態度を執る事により初めて、農民新聞は第十三回黨大會の決議通り、黨勢力を農村へ誘導する手段、廣く農村を教化する手段、農村生活の病弊を

治療する手段となり得るであらう。

十、農村に於ける反宗教宣傳

A 宗教に對する××黨の態度

農村の××黨員は誰でも宗教に對する、吾が黨の態度を良く了解して居なければならぬ。吾が黨の、宗教に對する態度は、同志レーニンが其の論文や演説の中に明かに述べて居る如くである。彼の宗教に關する思想が、黨の綱領の根底を爲して居る。「宗教は——ヴラデーミル・イリイチは書いた——他人の爲にする永遠の勞働と貧窮と孤獨に依つて窒息しやうとして居る大衆の上に、到る處で加へられて居る精神的壓迫の諸形態の一である。搾取階級に對して行ふ被搾取階級の闘争の無力も亦、必然的に善き來世に對する信仰を生み出す事は、恰も自然に對する野蠻人の闘

争の無力が、諸神、悪魔、奇蹟等に對する信仰を生み出すと同様である。宗教は、民衆に對する阿片である。宗教は——一種の精神的の酒であり、その酒の中に、資本の奴隷は、自分の人間らしい形、幾らか人間としての價値ある生活に對する自分の要求を沈めるものである。」と。

又別に同志レーニンは書いた。「現代のプロレタリアートは、社會主義に左袒して居る、この社會主義は宗教的雲霧と闘ふ爲に科學を味方とし、労働者を來世の信仰から解放して、現世のより良き生活の爲に争闘するやう團結せしむる。」と。

然らば、より良き現世の生活の爲に闘争するためプロレタリアートを團結し、更に彼等を農民階級と結合した××黨は、この奴隷の遺産たる宗教に對して如何なる態度を執るか？

宗教に對する我が黨の態度が、私事であり得ぬことは、分り切つた事である。黨は自ら指導して以前の奴隷制度を一掃し、經濟的壓迫を破壊したのであるから、「精神

的壓迫の諸形態の一」たる宗教に對して眼を蔽ふことは出来ぬ。又、蔽うてはならぬ。此の事に關する同志レーニンの見解を引用しよう。曰く「宗教は、國家に對する關係に於ては、私事として聲明さるべきである。さり乍ら吾人は宗教を我が黨に對する關係に於ては、如何にしても私事と見做すことは出来ぬ。……宗教團體は國家の政權と結びついて居てはならぬ。各人勝手に如何なる宗教を信するも、又如何なる宗教をも認めぬ無神論者たるも全く自由でなければならぬ。而して社會主義者(××黨員)は普通無神論者である。」

斯の如く、宗教は黨に對する關係に於ては私事でない。××黨員は誰でも無神論者でなければならぬ。全體としての黨は宗教及宗教的偏見と闘はなければならぬのである。

B 宗教大會に關する××黨の綱領

黨の綱領は總て科學的、唯物的世界觀の上のみに築かれてゐる。この故に、我黨の綱領の説明は、宗教的雲霧の根底の説明をも含む譯である。

××黨綱領は宗教問題について次の如く説いて居る「宗教に對して共產黨は、既に國家から教會を、教會から學校を分離すべしと云ふ法律を發布したが、それだけで満足するものではない。斯の如きはブルジョアジー・デモクラシーが己れの綱領の中に掲げて居る政策であるけれども、資本と宗教宣傳とは多種多様な連繫を有して居るから、世界の何處でも徹底的に行はれた事がない。」

××黨は、大衆の總ての社會的、經濟的活動に於て計畫と自覺が實現した曉には、宗教的偏見が完全に一掃されると云ふ信念を持つて居る。××黨は労働大衆を宗教的偏見から解放することに協力し、又、最も廣汎な科學的、啓蒙的、反宗教的宣傳を爲しつゝ、搾取階級と宗教宣傳組織との間に存する關係を完全に破壊するため努力して居る。此の際肝要なことは、信者の感情を侮蔑せぬ様良く氣を附けるこ

とである。侮蔑は宗教的迷信を益々強くするばかりであるから。

C 反宗教宣傳と第十三回黨大會

××黨員及び××青年同盟員の多くは、反宗教宣傳に對する黨の態度を完全には理解して居らぬ様である。従つて如何にも拙い事をする場合が少くない。

例へば教會、會堂、祈禱所等を多數信者の意志に反して閉鎖し、これを以て、反宗教宣傳であり、宗教との闘争であると、誤り考へたやうな事があつた。

第十三回共產黨大會は此の事に就いて、次の如く述べて居る「教會、マホメット教堂、會堂、祈禱所、禮拜堂等の閉鎖といふが如き、行政手段による宗教的偏見との闘争は、それが如何なるものであつても、決定的に根絶せねばならぬ。」と。

この決議は我黨に何を語るか？ 教會、祈禱堂、辻堂、マホメット教堂等を閉鎖して、これを公會堂に變へる事が出来るであらうか？ 勿論、若しも教會が閉鎖さ

れて居り、使用されて居なければ、或は又、教會を反ソウエート宣傳の爲に利用して居るやうな事があれば、その時には、縣執行委員會、或は郡執行委員會は、契約を結んで何かの組織に其の教會を引渡し得る、但しこれは極く特別な場合の事で、住民の意嚮も考慮しなくてはならぬ。教會や、祈禱所を單に宗教との闘争の爲と言つて閉鎖してはならぬのである。

斯の如き反宗教宣傳の方法は全然反對の結果を齎すものであるが故に、反宗教宣傳は他の方針で爲さなければならぬ。

即ち、「農村に於ける反宗教宣傳は、農民がぶつかる自然及び社會生活の諸現象を唯物論的に説明する事だけであらねばならぬ」第十三回黨大會の決議は、更に進んで斯う言つて居る。この意味は、農民がよく神、聖靈、惡靈、惡魔等の爲せる業であると説明したがる自分の周圍の事實及び事件をば、××黨員及び××青年同盟員は農民をして其の眞因を了解せしむる様に説明してやらなければならぬと云ふことである。

ある。

十三回黨大會は、信者の宗教的感情を侮辱しないやう特に注意せねばならぬと今一度述べ、尙繰返し繰返し、熱情的な若い無神論者に次の事を説明して居る、「宗教的感情に對する勝利は、數年、數拾年と頗る長年月を要する教育事業によつてのみ、その目的を達し得るのである」と。人或ひは一年にして總ての人を無神論者にして了ひたいと望むであらう。然しながら、斯く考ふる所の人は間違つた事をする人であり、我と我が頭を打ちくだくものである。その人は全然反對の結果を招き、宗教的感情を尙一層深く追込む事になるであらう。

D 農村に於て反宗教宣傳を如何に爲すべきか

第十三回黨大會は、反宗教宣傳の具體的内容を興へた。

それと同時に、大會は、農村に於ける此の仕事の中心點は何處でなければならぬ

十、農村に於ける反宗教宣傳

か、此の仕事は何を中心として其の周圍に組織すべきかに關する指示をも與へて居る。それは——學校と「讀書の家」である。

第十三回黨大會の決議は、學校と「讀書の家」に對し、特に注意せねばならぬ事を指示して居る。この故に、何れの組織も、學校と「讀書の家」に於ける仕事が如何に進行しつゝあるか、又學校と「讀書の家」は黨大會の決議實行を援助しつゝあるか否か注意して居なければならぬ。

現時の學校は、やり方さへ巧くやるならば學童が宗教的でなくなるやうに爲し得るであらう。

「讀書の家」或は圖書館の周圍には、農村成年者に對する反宗教宣傳の凡有る形態を集中しなければならぬ。

それは先づ第一に、無神論者班或は、新聞「ベズボージニツク(無神論者)」の友班の反宗教的工作である。班は××黨員、××青年同盟員、農村智識階級、農民先驅

者、赤軍兵士、婦人代表者等より成つた少人數なものであつても、後では其の仕事を進展せしめて、廣汎な大衆の中に入り出し得るであらう。班の仕事としては先づ、班員の中から積極的な無神論者を養成する事、續いて用心深く大衆の中に入り出す事、即ち新聞「ベズボージニツク(無神論者)」其他反宗教的文獻、朗讀會、演説、講演會の開催、「無神論者の隅」の組織である。

演説會や講演會を催す爲には教師、農業教師、醫師、其他農民生活に良く通ずる人を誘引しなければならぬ。若しもこれ等の人々が班員となるならば、尙一層宜しい。霰、雨、雷雨、旱魃の起り、害虫の出現、地質、肥料の作用、人間と家畜の疾病等々の説明は——第十二回黨大會決議は云ふ——最良の反宗教宣傳形態である。教師、農業教師、醫師は、外の何人よりも上手に此等の説明を爲すであらう。

彼等は此等の説明を農事、獸醫學、醫學方面に於ける我國の事業と結びつけて話し、其の目的の爲に實例として此等の方面に於ける實績を利用するであらう。

斯くの如き、具體的な反宗教宣傳は、他の何ものよりも大なる効果を與ふるものである。

「讀書の家」の農業班も、反宗教宣傳事業に於ては、殿りならぬ役目を勤める、若しも農事の指示と此の方面に於ける實際的成績とが反宗教的結論と結びつけられるならば（祈禱で害虫は驅除されぬ。殺虫剤が必要であると云ふが如き）。

反宗教宣傳の爲には、宗教的祭日を利用し、科學的の見地からその起原を説明することが必要である。吾人は、宗教的祭日と云ふものが、農事或は農家の或る最も重要な時期と一致するものである事を知つて居る。これ等の祭日は、古い外道の宗教から我々に移つて來たものである、（例へばイリヤの日——これは農夫と雨を送る豫言者イリヤの祝ひ日である、遠い昔は、異教の「雷電の神」の祭日であつたのである。それから復活祭即ちキリストの復活は我々が自然に於て觀察するのと同じ様な現象である——冬の永い眠りから自然が復活するのである。斯くの如く、總ての祭

日は、その説明を科學の中に發見する）。

宗教的祭日の起原を説明すると同時に、現時の産業と關係したソウエート式祭日を作らんとする試みを爲さねばならぬ。例へば電化の日、收穫の日、森林の日等これである。電化の日にはイリヤの日を利用するのが便利である。

この事も亦、「讀書の家」で、簡単な談話の形式で行はねばならぬ、假令最初は非常に、僅かな聴衆であつても。兎に角農村に於ては、××青年同盟の示威運動は避けなければならぬ。これは常に利益を齎さざるのみならず、却つて反對に、農民階級の怒りを買ふものである。

僧侶の詭計、貪慾、泥酔の假面を剝ぐ事も必要ではあるが、然しこれは宗教の本質に對する批判と結びつけて爲さなければならぬ。僧侶のみを批判すると、屢々農民を驅つて僧侶を認めざる分派に赴かしめ、分派者セクタントを増加せしめる原因の一となる事がある。

僧侶と論争する必要は少しもない、何故ならば、僧侶との争ひは信者を無神論者にしなればかりでなく屢々彼等に無神論者に對する反感を抱かせるからである。加之、この論争中にはどんな間違ひが出来ないとも限らないし、若しそんな事があれば一層仕事に障害を與へるであらう。

E 宗教問題に關して讀むべき書籍

- 一、新聞「ベズボージニツク(無神論者)」
- 二、宗教に關するレーニンの論文集「宗教に關するレーニンの思想」(ヤロスラーフスキイ編)
- 三、宗教の發生に關する問題を取扱つたのでは、イ・ステバーノフのパンフレット。
- 四、宗教的祭日の起原を説いたエフ・プテンツェフの「宗教的祭日の起原」
- 五、僧侶の反革命的役割を説いたエム・セインマンの「神の爲の火と血」

- 六、宗教と道德問題に就てはア・ロギーノフの「聖書は善を教ふるか」
- 七、舞臺上演用としてはヤ・レズヴーシキンの「神を裁く」
- 八、同じく「ノーワヤ・モスクワ」社出版の「若い無神論者に」
- 九、エ・ヤロスラーフスキイ「神々と女神は如何に生活し、出生し又死ぬるか」

昭和三年二月二十日印刷
昭和三年二月五日發行

農村に於ける教育

定價 金五拾錢

譯者 山田一郎

發行者 平野馨

印刷著 沖田瀧次郎

印刷所 沖田印刷所

東京市本郷區弓町二丁目一四

平野書房

振替東京七六九〇六番

不許複製

發行所

富士辰馬著

四六判

定價壹圓

送料八錢

レーニン線
上を進む

ソウエート聯邦

ソウエート聯邦は革命十週年を経て今や政治上に經濟上に新なる軌道に進み込みつゝあり、この事實は歐米の資本層と労働層との新たに強化された注意を惹起した。就中、日本との關係は支那問題を中心に益々緊密化しつゝあり。茲に著者は、その潑刺たる眼と耳と頭を以てソウエート聯邦の新しい姿を描出した。そこには反對派との論争、支那民族運動に對する政策、英露間の係争、聯邦の對日觀、その農民政策がある。洵にソウエート聯邦に就き我々の關心に觸れた諸問題が明白に論述されて居り萬人に取つて絶好の必讀書なり。

發行所 東京市本郷區弓町二丁目一四番 平野書房

317
211

終

¥ 0.50